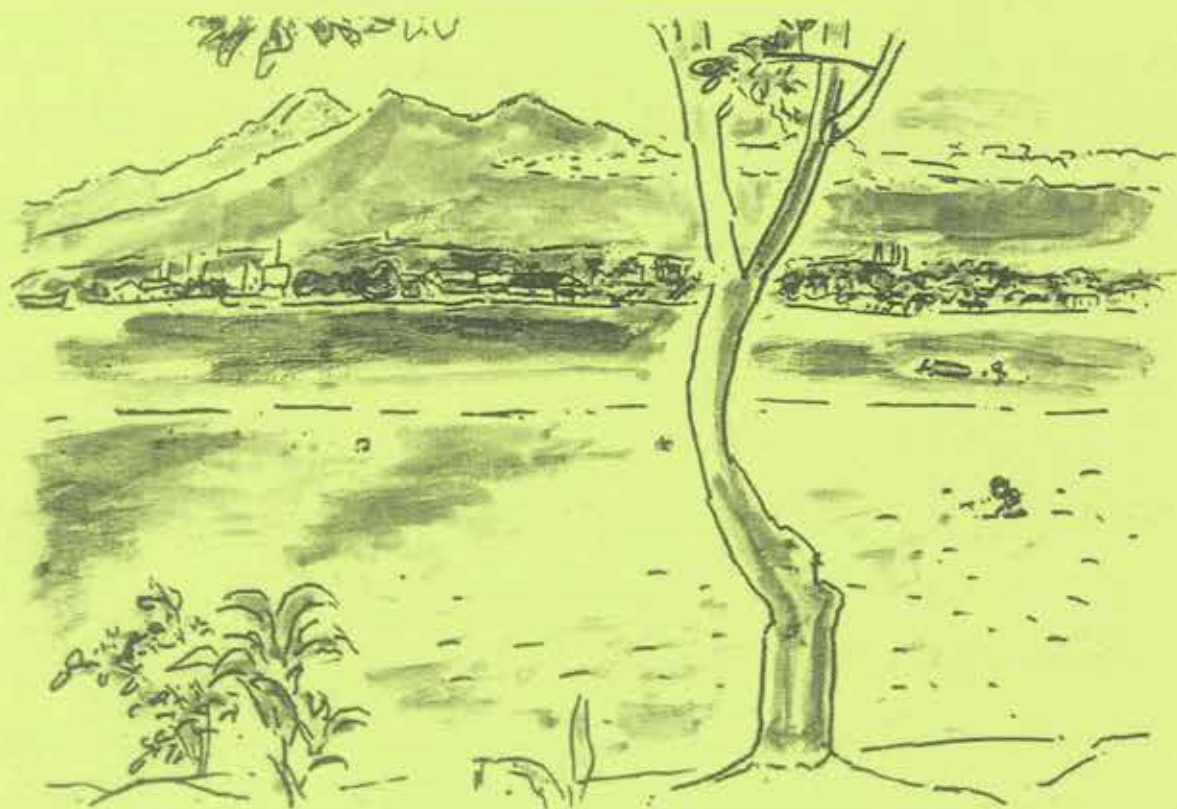


vol. 14

南国暮らしの会

特定非営利活動法人

2001年 会報 秋季号



平成13年10月 8日



NPO法人 南国暮らしの会

* 会員敬称略

目 次

・ 表 紙 サマル島ビーチよりアポ山を望む(ダバオ)	No.38	橋本 比奈子	
・ 目 次			1 頁
・ 5 週間南国一人旅	No.241	下元 彬人	2~9
・ 東南アジアツアーを振り返って	No.47	三井田 雅俊	10~15
・ 山田 長政 Memo	No.47	三井田 雅俊	16~17
☆ 関東地区・タイ情報交換会講演要旨			
(1) タイツアーの目的とその概要	No. 3	池田 徳三郎	18~19
(2) タイ調査旅行に同行して	No.134	松岡 且視	20
(3) タイ・チェンマイに住んで		水間 伸明様	21~23
・ 聖なる森、ウダワッタケレ (スリランカ紀行)	No.428	岩瀬 光子	24~28
・ 神々の島で、ゆっくり、のんびり (バリ島滞在記)	No.6	石川 綾子	29~30
・ オーストラリアのリタイアメント・ビレジ	No.110	藤本 靖人	31~32
・ セブの田舎	No.108	八束 正	33~34
・ ハワイ・オアフ島でロングステイする	No.163	宮崎 哲郎	35~38
・ ダバオの賃貸契約書 (一戸建て)	No.291	福田 修	39~40
・ プラスティック・マネーの海外利用術	No.315	鈴木 剛	41~42
・ アメリカ抽選永住権 (DVプログラム)の話	No.148	足立 洋太郎	43~45
・ 伝言・掲示板			46
・ 支部・部会伝達板			47~49
・ 平成 13 年度役員業務分担表			50~51
・ 編集委員会より			52
・ 広告 (比・クラーク・フォンタナリゾート)	賛助会員：田野瀬 博太郎		53
・ 広告 (比・アルカピア・クラブ・ビレジ)	賛助会員：(株)アルカピア・ジャパン		54

5週間の南国一人旅

高知県窪川町在住 会員 No.241 下元 彬人

退職、郷里への U ターン、年金生活のはじまり、まもなく、62 才。こんな人生の通過時点で、はじめて、やや長めの旅をしました。(6月5日成田出発、7月13日帰国)

マレー半島を陸路で南下してみたい、という望みを、漠然と、しかし、ずっと持ち続けていたので、この実現を図りました。

さらに、旅の後半は、当初の計画では、シンガポールからはコタキナバル、サンダカンを経て、セブへ入ろうと思っておりましたが、ふところ具合との折り合いがつかず、シンガポール～ホンコン～セブという旅程になりました。

この旅の体験や感想を、15回に渉って、nangoku のメーリングリストに載せたところ、会報にも使いたいので、できるだけ情報の部分を纏めてみてくれと、言われました。大した情報ありませんが、その意にそって縮小し、つぎはぎを施してみます。以上の事情をお汲みのうえ、参考資料と言うよりは、かるい読み物として、お目通しいただければ幸いです。

旅とバッグ

準備段階で、一番気になったのは、a) どういうバッグにしようか、という事と、b) ノートパソコンを持ってゆくべきか否か、ということでした。

バックパッカーの姿には、淡い憧れを抱いていました。実際には、小型のカート付きのバッグが一番使い勝手が良いのではないかとは思っていました。でも、わが人生一番の大たび、ここは、夢を大切にとの思いから、バックパック(リュックサック)の気に入ったのを買ってきて、これで、スタートしました。

成田から出発し、最初の寄港地、バンコックで入国手続きの列に立っているとき、これは失敗だった、と自覚しました。腰に負担を感じ、続けていると、腰痛状態になるのではないかという不安感を覚えま

した。あっさり、自分の判断の誤りを認め、翌日、バンコックの東急デパートで、サムソンナイトのカート付き機内持ち込みサイズのバッグを買い、これに切り替えました。不要になったバックは、船便で、日本へ送り返しました。(バンコックの中央駅、HuaLamPhong 駅構内にある郵便局では、梱包用の箱が用意されており、梱包サービスもやってくれ、親切な宅配屋さん、という感じで、心配りの良さに感心しました。)



バンコックの HuaLamPhong 駅構内

しかし、このことは、バックパックが一般に使い勝手が悪い、ということではなく、たまたま、ぼくには向いていない、または、ぼくの使い方が下手だったと、いうことだと思います。ともあれ、旅は、失敗でスタートしました。

連絡は hotmail で

去年、小旅行にノートパソコンを持って行き、便利で、旅が一段と楽しくなることを経験しました。(at&t のローミングサービスがとても、役に立ちました。) しかし今度の、長期さすらい型の旅では、

極力、身を軽くせねばならず、ちょっと無理をしてでも日頃、使っているノートパソコンを持ってゆこうか、この際、もっと、もっと、小型の旅行用のを買おうか、いろいろ迷いましたが、結局、手ぶらで行くことを選択しました。

必要最小限度の連絡は、インターネット・カフェで、**hotmail** を利用して、ローマ字（アルファベット）で発信できることを知っていたので、電話、電報、手紙の代用として、これを使おうと思っていました。

バンコックではじめて、インターネット屋さんで試したときは、たまたま、幸運でした。自分の **hotmail** のアドレスに入ってくるメールは勿論のこと、日ごろ、自宅でつかっているアドレスに入ってくるメールにもアクセスでき、日本語で読めて、日本語で発信できる、最良の状態のパソコンにめぐりあえて、興奮しました。

その後、ゆく先々(Bangkok, Hat Yai, Penang, Kuala Lumpur, Singapore, Hong Kong, Cebu, Davao, Dipolog)で試してみましたが、次の3パターンに類別できるようです。

- 日本語で読み書き、両方できる
- △ 日本語で読めるけど、発信はローマ字でしかできない
- × 日本語で読み書き、両方だめ（ローマ字文、英文は可）

読める…日本語で読めるということは、そのパソコンには、すでに、日本語表示機能がダウンロードされていると言うことのようにです。まだ、されていない場合には、メニューバーから **View(表示), Encode, More, Japanese (auto)** を次々に選択して行くと、ダウンロードするか？ と聞いてきますので、これに応じます。ダウンロードには、大体、30分ぐらいかかります。その間は、ファーストフードへ行ったり、お茶をのんだりしていました。メールのチェック、返信などが終わってお店を出るときには、お店のひとに、「この台は、日本語を読み取る事ができるようになっているので、こんど、日本人が来たら、この台に、案内してあげて。」と言いついてきました。

書ける…日本語で、書き込みができるという事は、そのお店の人が、日本語ソフトを手に入れて、既にインストールしてある、という事のようにです。右下のバーに「**EN**」など、言語を意味するアイコンがあり、これをクリックして、**Chinese, Korean,**などに混じって **Japanese** があれば、にっこり、です。

この、3段階の差は、お店がどの程度日本人を顧客としてターゲットにしているか、の差だと思えます。面白く思ったのは、シンガポールです。4軒試してみましたが、○はありませんでした。日本人観光客は多くても、安旅族は対象にされていない、と言うことでしょうか？ぼくの僻みかも知れませんが。

ちなみに、3軒目までに、○のお店に当たった街は、**Bangkok, Penang, Kuala Lumpur, Hong Kong, Davao** でした。かなりの普及ぶりです。

やど

年金生活者が、連日、高級ホテルやリゾートホテルに泊まるのは、当然、経済的に無理だし、また、年金は、そのように使われてはならない気がします。そもそも、ぼくは、清潔で、質素な3流のやどの方が好きで、そういう宿にばかり泊まりました。

バックパッカーの本に、安宿は、値段が安いだけでなく、こころ、安すらぐ宿だ、と書いてありま

したが、同感です。われわれ、若者卒業者が、バックパッカーの安旅をそのまま、真似るのには無理がありますが、かれらの旅の仕方には、体験や知恵の結晶があり、かれらの周辺で、ときにはその中に入って、旅をするのは楽しく、ありがたいことです。良い安いやども、バックパッカー街の周辺に多いように思います。



バンコックの安宿街、カオサンロード

良い安宿の条件は、エアコンがあり、on/off、強弱の調整が自分で出来、ベッド、まくら、シーツが清潔で、トイレの水がちゃんと流れ、部屋の空気に不快なよどみや匂いがなく、ひどい騒音がないこと、だと思います。

やどの選択と値段のめやすには、「地球の歩き方」東南アジア編を参考にしました。(でも、信じすぎると、情報が間違っていたり、古かったりで、肩すかしをくらいます。)

そのほか、YMCA、YWCA、ユースホステルは、概ね、あてになります。ヤングとか、ユースとかは、単なる冠で、年配者も、家族連れも、カップルも、外国人も、同様に歓迎してくれますので、未経験の方は、ぜひ、お試しになってみてください。



ペナン島の安宿街、ルブ・チュリア

こんど、ぼくが旅行した地域のうちでは、シンガポールやホンコンは、比較的、地価が高く、当然、ホテル代も割高になります。こういうところでは、前述のような、組織のしっかりした施設のドミトリー(相部屋)が良い選択肢になります。シンガポールでは5人部屋、ホンコンでは4人部屋のドミトリーに泊まりました。新しく、清潔で、機能的で、相部屋のマイナスを打ち消してくれました。

特に、YMCA of Hong Kongは、個人別にロッカーやsafety-boxがあります。Peninsula Hotelの隣りに位置しており、フェリー埠頭から徒歩1分の便利さです。それに、こういう施設で働いている従業員の方たちは、正しい情報を気持ちよく教えてくれます。これが、旅行者にはとても有難いことです。

泊まったホテルの名前と値段(税・サ込み)を、参考までに順番に記しておきます。主観的、独断的な、○、△、×、の評価を添えました。換算レートは、「地球の歩き方、東南アジア、2001-2002版」に拠り、1B(バーツ)=¥2.7, 1RM(リンギット)=¥30, 1SGD(シンガポールドル)=¥62, 1HKD(ホンコンドル)=¥13.7, 1Peso(ペソ)=¥2.6で計算しました。

△Miami Hotel (Bangkok,Thailand) 450B(¥1220)

×Bangkok International Youth Hostel (Bangkok,Thailand) 250B(¥680) ユースホステルにしては、従業員の意識が低い。

○Krung Kasem Sri Krung Hotel (Bangkok,Thailand) 500B(¥1640) 鉄道の中央駅に近い。

○Montien Hotel (Hat Yai,Thailand) 350B(¥950)

×Swiss Hotel (Lebuh Chulia,Malaysia) 30RM(¥900) エヤコンなし。

×Boon Guest House (Batu Ferringhi, Malaysia) 50RM(¥1500) 睡眠中、アリにくわれた。

○PuduRaya Hotel (Kuala Lumpur) 88RM(¥2640) 割引キャンペーン中だった。

○YMCA International House (Singapore) S\$28.33(¥1760) ドミトリーを選択した。

○YMCA of Hong Kong (Hong Kong) 231HKD(¥3170) ドミトリーとしては値段が高いけど、便利。今後も利用したい。

×YMCA of Cebu (Cebu) 250P(¥650) ローカル化していて、もはや、YMCAとは言い難い。

△VISCA Hostel (Leyte, Philippines) 500P(¥1300) 大学内のゲストハウス。

△Pongos Hotel (Ormoc City, Philippines) 420P(¥1100)

△Elle's Pension (Davao) 588.50P(¥1530)

○The Royale House (Davao) 350P(¥910) 割引キャンペーン中だった。

○Jasmine Pension (Cebu) 400P(¥1040)

○C'est La Vie Pension (Cebu) 500p(¥1300)

△Chriscent Ville Pension House(Dapitan,Philippines) 500P(¥1300)

△Hotel Camila (Dipolog, Philippines) 499P(¥1300)

○Shiomi House (Manila) ¥4000 食事付き、ビールのみ放題。送迎の車代は、別途。

YMCA やユースに評価がきついのは、期待しているのだからしっかりやって、と言う意味をこめて
います。

飲み物・食べ物

やどが決まると、次に探すのは、セブン・イレブン、
または、同種のコンビニのお店です。なによりも先に
買うのは、ボトルにはいった水。これで先ず一安心で
す。つぎには、何か食べるもの、日本でならば、おに
ぎりか、お弁当ですが、残念ながら、南の異国では、
そんなものありません。サンドイッチがあるにはある
のですが、味と経済性を競い極めた日本の名品になれ

ている我々には、買う気の失せる種類のもです。では、なにが買いか、というと肉まん和シュウマイ
の類です。これに、缶ビールを加えれば、先ず、夜食には十分で、こころよい眠りを得られます。

さいわい、ぼくは、好き嫌いがなくて困ることは、ありませんでした。いち
ばん、飢えたのは生野菜です。レストランのサラダは、量が少なく、値段も割高です。そこで、とくに、
冷蔵庫のある部屋に泊まる日などは、スーパーで、きゅうり、トマト、にんじんとドレッシングを買っ
てきて、冷えた生野菜をこころおきなく、食べました。鉛筆削り用のカッター・ナイフが包丁の代役を
果たしました。これに何か一品、ルームサービスでとり、缶ビールを加えれば、立派な夕餉になります。
書くとみじめっぽく響くかもしれませんが、実際は、野外料理のような楽しさを感じました。もちろん、
バイキング(buffet)があるところでは、しばしば、利用し、値段以上の量をいただいたのは、言うま
でもありません。

ビールは、それぞれ、土地のものが十二分に、おいしく感じられました。面白く思ったのは、アルコ
ール好きのぼくが、日本に居るときほど欲しがらなかったことです。察するに、旅の日々がそれなりに
充実していて、健全な疲れが、健全な眠りを誘ったのでしょう。日本に帰ると、とたんに、アルコール
が欲しい毎日に変わりました。

乗り物いろいろ

a) バンコックから、マレーシアとの国境に近い、ハジャイ(Hat Yai Jn)まで、約 17 時間半、汽車
に乗りました。始発駅の HuaLamPhong 駅は、古いけれども、中央駅にふさわしく、立派です。いろ
いろなお店に混じって、ファーストフード、インターネット屋さん、郵便局、ATM 機が数台、案内所
が数箇所など。むろん、構内の中央部には、待ち客用の椅子が、たくさん並んでいます。ぼくの泊ま
った、Krung Kasem Sri Krung Hotel から、歩いて 2 分の距離でした。

汽車の車体は、日本のような、きゃしゃ華麗タイプではなく、がっちりした重量感のあるもので、以
前に乗ったことのある北米の AMTRAK を思い出しました。長旅なので、一等にして、1334B(¥3600)。
一部屋に、乗客二人。お連れは、保険会社につとめる 30 代のシンガポリアン男性でした。

顔をみせる職員は、きつぷをチェックする車掌、食事や飲み物のオーダーをとり、後で配達にくる食事
係り、部屋の掃除をしたり寝台ベッドをセットしたり諸々の世話係り、の 3 人。車外の景色は、たん
ぼ、畑、やしの木、低い灌木の雑木林。大体が平地をはしり、高い山を身近にみた記憶がありません。
そういえば、トンネルも無かったように思います。日の落ちるころに、夕食(それに、ビール)。ベッ
ドにはいって、文庫本。グッスリ熟眠というわけには行きませんが、まとまった眠りが得られ、寝起き



バンコックでのお気に入りメニュー

が気持ちよかったです。出発 14:20、到着 07:50。

b) 二泊のあと、ハジヤイ(Hat Yai Jn)から国境をこえてマレーシアのバターワース(Butterworth)へ。出発 08:04、到着 12:55。ベッドをセットする必要がないせいか、322B(¥900)と随分安い。クラスもコーチしかない、モノクラスのような感じでした。中央の通路をはさんで、右に 2 席、左に 2 席で、随分ゆったりしている。Specail Express なので、乗っている人は外国人旅行者が多い。ほどなく、車掌がマレーシアへの入国カードを配りにくる。国境の駅、Padang Besar には、すぐに着いた。乗客は全員すべての荷物を持って、車外へ出、出国そして入国。ほぼ同じ事を、かべ一枚をへだてて黙々とやる。何の問題もない、時間もさほどかからない。ちょっと、拍子抜けしするあつけなさ。でも、そういえば、いつか経験した、アメリカ～メキシコ越えも、アメリカ～カナダ越えも、あつけなかった。国境越えとは、こんなものなのかと、納得。「なにも、変わらないね。」と、となりのマレーシア人のおじさんに言うと、「いや、時間が 1 時間変わった」という。日本との時差が、2 時間から 1 時間に縮まった。この列車の終着、バターワースへ着くと、乗客の大半が、一軒しかない両替屋に向う。ぼくも、列に加わる。パークからリンギットの世界へ。1B=¥2.7, 1RM=¥30。お札のゼロの数が、ひとつ減った。

c) 大型客船

Bohol から Mindanao 島の北西部にある Dapitan まで乗った WG&A 社 の大型客船、Our Lady of Sacred Heart は、まことに快適でした。(<http://www.wgasuperferry.com>)

二等の四人部屋に、ぼく一人でしたので、静かさ、涼しさ、広さを気ままに占有できました。部屋にかぎをかけて外へ出れば、食堂、売店、ゲーム、カラオケなどがあり、なによりも、気軽に話し掛けられる大勢の同乗者がいます。船は、人々の距離を縮めて仲良しにする力があるように思います。さらに、歩き回れて、気晴らしも、かるい運動もできる。これが、心身に良い影響をあたえるので、船での長旅ができるのでしょう。エコノミー症候群にも無縁です。出発 09:00、到着 15:00 の予定が、1 時間 20 分遅れました。



船から写したボホール港

一等用のダイニングルームでの昼食が付いて、高齢者割引料金 (後述) で、450P(¥1170)。この船には、いつか、もっと長く乗ってみたいと思います。読むべき本と、ノートパソコンを用意して。

d) 高速船

セブを中心に中型の高速船網が発達していて、便利です。太平洋戦争の戦場で、大岡昇平の著書などで知られるレイテ(Leyte)とセブ(Cebu)の間を往復しました。日本のタイプと殆んど同じで、小回りがきき、定時運行も守られているようです。2 時間弱の船旅で、高齢者割引料金で、325Peso(¥850)。快適なので、降りてから、つぎに乗り継ぐローカルバスやトライシクルとの落差の大きさを感ずります。

e) フェリー

片仮名の、フェリー、という言葉が良く似合うのが、九龍島と香港島との渡し舟、スターフェリーではないでしょうか。大きな古い鉄板が、おもむろに動く感じが、旅情をさそいます。でも、感傷に浸っている時間はありません。瞬く間に、着いてしまいます。(埠頭では、栗森さんが香港便りで紹介されているアマさんたちの情景が、展開していました。)まったく同じタイプのフェリーが、マレーシアのバターワース駅とペナン島をつないでいました。こちらは、20 分ほどの航海。スターフェリーよりも、南洋の旅情をさらに、こく感ずります。

f) タクシー

タクシーは、街の健全度ををはかる、よい基準になると思います。それを意識して、もっと、積極的に乗ってみるべきだったと反省していますが、シンガポール、ホンコン、クアラランブールでは、バスや

地下鉄や LRT (モノレールのような高架電車) が利用しやすくて、タクシーに乗るチャンスを失いました。しかし、タクシーに乗らなくても、用が足りるということは、その街の生活が、それだけの水準に達していると言う事だと思います。

バンコックでは、バスの要領がいまいち分からず、すべて、タクシーで移動しました。ドライバーは、感じが良く、みんなメーターで走るし、安いし、思ったよりも渋滞がひどくなかったし、なんの不满も感じませんでした。しかし、帰国後、複数の友達に、バンコックのタクシーは、結構、危ないと注意されました。裸の王様状態だったのかもしれない。

ペナンでは、Ferry Port から、Lebuh Chulia まで 5RM(¥150)、Lebuh Chulia から Batu Ferringhi まで 25RM(¥750)、いずれもメーターはなく、交渉で値段を決めておいて乗ったので、おそらく、観光客料金を払っているとは思いますが、基準がわからないので、なんとも、評価のくじょうがありません。ドライバーはいずれも、陽気で、いやな感じはまったく、受けませんでした。いずれにしても、メーターがなく、いちいち、交渉しなければならないことは旅行者には、重荷です。

セブでは、空港のタクシーが、やや、用心が必要のようです。警官の前では、メーターで行くような様子でも、動き出すと、メーターをたおして、200Peso(¥520)でどうだ、と交渉を持ちかけてきたことがありました。

同じく、ダバオ空港でも、社長さん、社長さん、と大声で連呼する柄の悪い、しつこい客引きドライバーが 2 人出現していて、驚きました。こういう病原菌は、早く処置しておかないと、たちまち伝染、繁殖し、地域全体の人心がまたたくまに、下がってしまうことが目にみえています。市長さん、警察署長さん、ガンバレ！自分達の町の質を、自ら守れ！

しかし、両市とも、空港以外のタクシーは、メーターを遵守し、とくに、問題も感じません。台数が多いので、とても便利です。

これよりも小さい Philippines の街では、空港や港にタクシーはない、という心構えで行くほうが正解のようです。バス、ジブニー、トライシクル、ときには、モーターバイク (後部座席にすわり、バッグを運転手と自分との間に挟んでおいて、運転手に、両腕で巻きつく) にも乗る覚悟が必要のようです。

高齢者運賃割引制度

ひょんなことから、Philippines では Senior Citizen Discount というの制度があることを知りました。

レイテに住み着いていらっしゃる、岐阜県出身の山田さんと知り合い、文字どおり、浜辺にあるお宅に招かれ、

ジンで杯をかさねながら二人して、高速船 Supercat の素晴らしさをたたえ合っている時、山田さんが、「あれで、410 ペソは、安い！」と言う。彼は、まだ、50 代だが「60 才以上になったら、更に、20 パーセント引きだ。」と言う。ぼくは、払った金額が、325 ペソだったのを、はっきり覚えていた。という事は、自覚のないまま、20 パーセントの割引の恩恵を受けていたのだ。！

そういえば、発券をうける際に、名前と年齢を書け、と言われたのを思い出した。しかし、それは、万が一、事故か何かがあった時の記録用だと思っていた。すっかり味をしめたぼくは、その後、何に乗るときも、胸をはって、I am a senior citizen. と言って、パスポートを見せることにしている。船舶は、どの会社も OK、PR の国内線も OK だったが、1 度だけ、セブ・パシフィックに、ダバオ空港で、この制度は、外国人には適用されない、と断られたことがある。文書で確認したことはないのですが、真相はわからない。窓口によって、対応や解釈が違うことは、南の国々では、まま、あること。60 才以上のかたは、それをご承知の上で、どうかお試しあれ。



クアラルンプールの高層ビル

保険

旅行保険は、いつも、VISA カードに自動的に付いているもののみ。従ってとくに、何もせずに、旅行に出ます。でも、一旦、ことが起きた時には、この保険が、どのように機能するのか、不安に思っていました。それを体験するよい機会がありました。

6月14日、ペナン島の Batu Ferringhi というビーチのコテージで、睡眠中に小さなアリに身体中をかまれた。朝、目がさめたとき気が付いた。痒いけど、そのうちにおさまるだろう、と放っておいた。しかし、痒さも、肌のぶつぶつも、悪くもならなかったけど、良くもならなかった。1週間後の、6月21日に、先も長いことだから、手を打っておこうと思って、シンガポールで医者に見て貰った。YMCA が紹介してくれた、徒歩2分



ペナン島ビーチリゾート、バツーフエリンギ

の Park Mall の大きなビルの7階にある、女医さんひとりの小さな医局だった。40才前後のとびきりの美人で、しかも、感じの良い女医さんだった。彼女は、ぼくの皮膚の状態を調べた後、おしりに、注射を1本うち、さらに、塗り薬と、朝昼晩の飲み薬を、3日分くれて、60シンガポールドル(¥3720)。小額だが、カード付帯の保険が実際には、どういう風に扱われるのか知りたかったので、医師の名前、住所等とサイン入りのレシートをもらっておいた。.....

さて、帰国後、電話をいれ請求手続きを体験してみました。住友海上から、一週間ほど後に、請求用の用紙が送られてきました。比較的簡単な書き込みをし、医者からの領収書と旅券の数ページの写しを添えて、投函したのが、7月31日。8月10日には、口座振込がなされていました。まずまず、スムーズな顧客サービスと評価できます。ところが.....この際、保険の条件をしっかりと理解しておこうと思って、保険サービスご利用の手引き、という小冊子を送ってもらったところ、とても重要な保証内容の変更が、8月1日付けで、なされておりました。これまでは、ぼくの場合のように、その旅行のために、あるいは、その旅行中に、とくにカードを利用しなくても保険が適用されていたのが、これからは、「カードを利用して、航空券、パッケージツアー等を購入した場合のみ保険が適用」と、変更されています。等、が何を含み、何を含まないかが、カギのようです。電話で念をおしてみたところ、公共交通機関（行き帰りの、リムジンバスや成田エクスプレスなどを、含む）利用のため、カードを使い、サインした伝票の控えと領収書（または、切符の半券）がそろっていれば、その旅行は保険の対象となる、とのこと。ちなみに、旅行中に、食事代やホテル代をカードで払っても、ダメだそうです。

VISA カードに、旅行保険を頼っておられる方は、この際、利用の手引き、を新しく取り寄せ、ご自身で、確認、納得されておくことを、お勧め致します。

南国ノンフィクション——恋と別れ

Mindanao島の北西部に位置し、Sulu海に面した小さな町Dapitanで、南の会の川上さん達3氏と、6月9日に会うことになっていた。ぼくは、Boholから、大型客船で、1日早く着いて、彼らを待っていた。ところが、かれらは、9日のManila~Dapitanの飛行機に乗れず、日程が遅れCebu経由で、船便で来ることになった。ぼくの旅は、一ヶ月をすぎ、もう、帰らなければならない時期にきていた。ぼくは、Dapitanで、彼らに会うことをあきらめ、10日の午後便で、Manilaに向かうことに決めた。それまでの時間を、川上さんの知り合いの警察署長宅で過ごすことにした。

このお宅は、10人ほどの大家族だった。5,6才の女の子が二人いてこの子たちと、仲良くなった。彼女たちが、この家の主の、孫なのか、娘なのか、親戚なのか、いまだに知らない。左の子は、理

知的で運動神経が優れていた。右の子は、情緒的でとりわけ、ぼくに、なついた。

我々は、手をつないで、近くの小高い丘に登った。30分程かかって頂上をきわめた。振り返ると、右手には Dapitan 湾、左手には水田のような区画が、いくつも見えた。あれ、なに？ と尋ねると、フィッシュ、フィッシュ、と答えた。(多分、魚の養殖池)

眼下に石を投げて、遊んだ。いろんな、木の葉や名前も知らない木の実を摘んで、遊んだ。言葉は通じないのに、彼女たちと一緒に、自然に遊べていることが、この上なく嬉しかった。

家へ戻ってからも、この子は、ぼくのそばを離れなかった。ビサヤ語でぼくに話し掛ける。ぼくは、意味はわからないけど、音をキャッチして、オウム返しをする。それが、楽しいゲームになった。

彼女が、ぼくの両掌に、頭をあずける。足は、動かさないままの状態、彼女をゆっくり、一定のリズムで、メトロノームのように、左右に揺らす。

これも、ゲームになった。

ぼくたちは、飽きなかった。

午後の3時、ぼくが、空港へ行く時間がきた。

バイバイと、握手のため、手を差し出すと、彼女は、応ぜず、目をそらして涙をこらえていた。彼女の姉が、(もしかしたら、違うかもしれない)、日本と一緒にゆきたい？ とその場を、とりなす言葉を挟んだ。

空港への足は、オートバイ。運転手は警察署長。その後ろに、ぼくのバッグ、さらにその後ろにぼくが座って、(つまりバッグを挟んで)、かれに抱きつく。下をむいて、いやいや、と首を振っている彼女に、ぼくは、もう1度、バイバイ、と言った。オートバイは、爆音とともに、急発進した。

スリリングな道中、ぼくは、きっとまた、彼女に会いにこようと思いつづけた。

(完)



ダピタンの忘れ得ぬ、恋人

追伸:

後で、川上さんからもらったメールによりますと、この少女は、警察署長の孫娘で、もう一人の仲良しさんは、親戚筋にあたるそうです。

メーリングリスト貼り付け

今日は1日家でのごんびり、ビデオの編集に挑戦しました。難しいですね、どうもうまくいきません、もっと勉強です。

それから、南国暮らしの会HPを更新しておりましたが、ここの所、情報不足であまり書けません、どなたか情報提供願います、何でも結構です。皆さんよろしく。

それから、やっと会場が取れました、10月よりと案内していましたが遅れてしまいました。パソコン教室を11月25日より開始します。ワープロ中心です。参加ください。一応、月1回開催の予定で、半年間ほど続ける予定です。又講師の支援も募集します。手伝ってください お願いします。詳しくは会報で案内します。

高沢 弘晃

東南アジアツアーを振り返って

東京都町田市在住 会員 No.47 三井田 雅俊

南の会主催の過去 3 回の東南アジアのツアーを振り返ってみたいと思います。これは決して旅行案内書には書かれていない、どちらかというと人間的な個人ベースの話になると思います。

第 1 回ツアーは、一昨年 1 月の比ツアーでした。竹内 司さんのお住まいのありましたマニラから南へ約 50 km の海岸べりに作られた有名なリゾート地プエルト・アズール、その場所に竹内さんの構想であった日本人村のお話しをお聞きすることと、竹内さんの構想から派生的に出てきた、Guroup Living の場所を見、そして所謂フェンスで囲まれた Village でお住まいの日本人宅を訪問することが主な目的であったと思います。

訪問後約 1 年を経て、プエルト・アズールの小さな丘陵地にあったベット数 2~300 のホテルが一時的に閉鎖されました。当時、経営主体であった ANGLO ASIAN STRATEGIC MGT INC.(マニラ市内に本社があった)の副社長でマーケティング担当のフランシス・パトロンに電話で聞いたところ、台湾と比国の航空協定がまとまらず、台湾客の来比が減り、また 1997 年に発生したタイ・パーツの急落に端を発した東南アジア諸国を襲った money の問題のため、約束された韓国からの投資がストップした(プエルト・アズールの海岸べりにリゾート・ホテルとシーサイド・エンターテインメントを造る 20 億ないし 30 億円の投資計画と言われていました)為に、しばらくホテル・メンテナンスのため数ヶ月休館するという話してありましたが、この会社の会長(Dr.パンリリオ・医者)の急死と関係会社の経営上の問題(船会社の売却、Air 会社の経営不振)の為、最近の話しではこのホテルは他社に売却されたと聞いております。

アングロ・エイシャン社の売上は 100 億プラスのところ、借入金が 20 億で 15%の金利を払っていました。パンリリオ会長は積極的な経営者で、政治力もかなりあった方ですが、経営は仲々大変だったと思います。

私は 3 回フィリッピンを訪れました。数多くの人々にお会いしました。アングロ・エイシャン社の会長・副会長・会計役・秘書連中・弁護士・医者・エストラダ大統領の友人で免税会社の社長・銀行の支店長・保険のブローカー等々です。

フィリッピン人は皆例外なく親切で日本人には大変友好的でした。良い連中です。この点が比国の魅力の最も素晴らしい点でしょう。

ご存知の通り、比国からの海外出稼ぎ者は数百万人とも言われておりますが、海外からの送金が比国外貨収入の 30%も占めていると言われております。この海外出稼ぎの内、最も多いのは女性の家事 SVC、介護で台湾、香港、シンガポール最近では中近東サウジアラビアにも増えているようです。また医療補助者も多く看護婦、看護助力、時には医療補助者も含めて、話によりますと米国西海岸地区の病院では多いところでは 50%が比人だそうです。

グアム、サイパンでの Hotel 従業員の 90%は密航者も含めて比人です。私は 1 年前の夏、たまたまグアム島の海岸から遥かに離れた場所にある刑務所を弁護士の紹介で尋ねたことがありました。正規の建物以外に広場に数多くのテントが見られました。弁護士の話によりますと、中国と比国からの密航者が何百人も収容されているとか。中国からの密航者の多くは小さな船である広い海を渡ってくるとか、中国・比国の貧乏のせいかわかりませんが、そのエネルギーの凄さといひ

ますか価値観があまりにも我々日本人と違っているのに本当に驚きました。

この楽天的で好人物である比人を支える政治と経済が、仲々にこの国を立ち上がらせてくれないのではないかと危惧せざるを得ません。比国で知り合った弁護士と医者話によりますと、比国の**Moneyの90%が僅か1000人のRich Peopleの手に握られている**とか。

なにも私が申し上げるまでもありませんが、東南アジア諸国での経済発展は海外資本から魅力ある投資がない限り、大変大変難しいのではないかと思います。

マレーシアと比国は大変良好な外交関係が結ばれています。比国からもかなりの家庭SVCや介護の女性がマレーシアにもいるそうです。

ただ問題があるとすれば、竹内さん宅でも見られた如くMaidの部屋と母屋との間を完全にLockして切り離していることです。我々日本人からみても人間不信のLockingは決して望ましいことではないと思っております。

比国でフェンスとガードマン付きのVillageの中での限られた空間というものは、マレーシア、タイにはない特殊事情でしょう。もっとも最近ではアメリカ南部のTEXASやフロリダでのRich manの住まいにも同様な傾向が顕著です。

比人から見た**日本人の評価**は、これは私の意見ですが、勿論非常に高いと思います。竹内さんと竹内さんの友人から聞いた話では、比国に居る日本人(多分1万数千人か?)の90%は悪で、比国に居る日本人の話には乗らない方がよい、という状態なのにも拘わらずですよ。

それに、これは私の見方ですが、比国は永い間スペインに統治され、その後はアメリカの下で数十年いくなればこき使われた生活を強いられてきました。

前にお話ししましたプエルト・アズールの持株会社の会長であったDr.パンリリオは私に、自分の先祖はスペイン人であったとスペインの血が入っていることを誇っておりました。

比人からすれば中国人、華僑は金持ちの小憎らしさを持っており、日本人は小金もあるし、よく働き、何よりも優れた技術と工業力を持っていると見ているのでしょう。

これからの話は“**チェンマイの田舎暮らし**”(著者 高橋 公志さん)からの引用です。

『タイ人は概して日本人に対しては好感をもっています。山田 長政のタイ・アユタヤ王室に対する忠実さの物語り、近年の巨大な経済援助、日本からの進出企業も多く、日本人の勤勉さ・誠実さを目の当たりに見ている、TVによる“おしん”物語り……日本人も吾々と同じように貧しく苦勞した時もあったんだな、という親近感。しかし、だからといって必ずしも日本人を尊敬している訳ではなく、時にはバカにしている感じがしないでもありません。タイ人から見ての白人は一目も二目も上にみておりコンプレックスをもっていますが、日本人に対しては良き友人と見ているようです。』

ところがタイは“**アジアで唯一、他国の支配を受けたことのない国**”という誇りが、比国とタイの文化の違いの大きな理由ではないかと思っております。

文化・芸術は歴史的にみても常にその財政的な援助者がその後ろにあるものです。ヨーロッパは全く例外なく貴族、王侯がサポートしておりました。日本の場合は天皇家、公卿社会、仏教集団、そして下っては大名、さらに下っては大商人がそうです。フィリピンの場合は僅かにスペイン時代の名残がみられます。マレーシアでは各地の王侯・サタンですが、あまり豊かな財を持っていなかったようです。タイの場合は各時代の王室と人民の寄付に支えられた仏教です。矢張り永い時代を経た、このような文化・芸術がその国々の人の心の構造に何かを残しているようです。

さて、鏤々として僅かな隙間を通して比国と泰国の文化と民族性をみてまいりましたが、ここであらためて、整理いたしますと、

比国、プエルト・アズールの女性の Sales Mgr. が私に次のように話ってくれたことがあります。比国での Business の成功は金が第一で次に人脈ですよ、と。この話に関連したことです、私は大変驚いた経験を比国で致しました。

それは、今お話し申し上げた女性 Mgr. と弁護士と知り合った 2 ヶ月後、再度比国を訪れた時です。突然、私達（当時の理事の竹内さん、西田さんと私ども）はマニラにある物凄く大きな建物に連れていかれました。そこには国の総ての保険（健康保険・失業保険）を取り扱う保険機構がありまして、その理事長トップに突然紹介された訳です。

比人は日本人の Group を見かけると例外なく金持ちの投資家とみるようでした。竹内さんがプエルト・アズールの最高のリゾート地に住んで居る訳ですから、その理事長曰く、初対面にですよ、「私は個人で近くの島に素晴らしい土地を持っている。マニラからヘリで 15~20 分くらいの処で大変静かな島です。明朝ヘリを用意するから、どうですか是非見て下さい。」大変立派な大きな写真を何枚か見せられましたが、丁重にお断りしました。

比国の High Class の人間の図式は次のようです。

金 → 人脈 → 土地 → Rich

比人についていえば、金の面で注意さえすれば、彼等の人間性は限りなく楽天的で人間的な情感豊かで、我々日本人を引き付けてやまないものがあります。

言い方は少々僭越ですが、比国では多少目線を高くしてもよいかもしれません。比国で何日かご一緒させて頂いた X さんは時に比人に対して大変目線が高く、我々が隣で聞いていてもハラハラするような事がありました、まずまず……でした。しかし、タイでは必ずしも人間関係が上手く行かないのではないかと感じて居ります。高橋さんの本にもそのような事が書かれております。

~~~~~

次に昨年 6 月のマレーシア旅行について極く簡単に触れさせていただきます。

旅行の際には、ペナン島で星野 亨さんと南の会の会員の木村 義光さんお二人に大変お世話になりました。やはり、会員の戸田 智弘さん、この方はフリーのルポライターですが、この方が書かれた「老後をアジア・リゾートで暮らす」という本の中に、先程申し上げた竹内 司さん、高橋 公志さん、星野 亨さんが総て紹介されております。

最初読んだ時と実際に現地を訪ねた後での本に書かれた事柄の印象ですか？ 文筆も仲々達者で、的確に描写されておりました。立派な本です。ただ、南の白蟻の被害の悩みと風土病については触れていなかったように思います。

クアラルンプールは都会好きの方には素晴らしい Long Stay 地でなにはともあれ、これが東南アジアかと思えるほどのきれいな街です。

多少とも自然や海に接したいという方にはペナン島をおすすめします。山梨にお住まいの本拠を構えておられ、ペナンに年 3 回程 L/S されておられる木村さんが多分最も理想的な L/S をお楽しみになっておられるのではないのでしょうか。

日本で言えば億ションの価値がある部屋の全フローアが大理石張りで、窓を開ければ静かな海が眺められ、夜は時にクーラーをかけなくても海からのそよ風でゆっくりおやすみになれるそうです。木村さんはこの素晴らしいマンションを 1 千数百万円で求められ、改修費に数百万円を費や

されたそうです。

この土地ペナン島はゆっくりと海岸の散歩が楽しめますが、ハワイのような都会的な趣の楽しみが無いようにも思われますが、このあたりは人それぞれの価値観の問題であろうと思います。

マレーシアの L/S では多分 Maid は不必要でしょうが、マレーシア人の Maid は非常に少ないようで、その多くはフィリピン人とインドネシア人の Maid だそうです。

マレーシアの国の政策としては L/S 振興策…これは海外からの企業誘致で外国人とその家族の滞在の為に SVC Hotel は比較的充実しているようです。比較的と申し上げたのは、観光客用の L/S Hotel はかなりレベルが高いように思えました。SVC Hotel での日本人の 1 ヶ月以上の、いや 2 週間以上の滞在は多分無理ではないかと思えます。

~~~~~

次にタイについてお話させていただきます。今年のタイ旅行見聞記は 8 月中旬発行の「南の会夏季号」でご紹介申し上げました。多少の重複はお許しいただき主な Points をご説明申し上げたいと思います。

まず、大変驚いたことが 2 つありました。その 1 つはタイ大病院での医療態勢が日本より遙かに優れているという世界的な評価です。タイでの病院は日本の地方レベルであるが、患者に対するサービスは世界一だとも言われております。

タイツアーの際、近ツリのツアーガイド、田中 葉子さんから聞いた話ですが、雲南省の昆明というとても花のきれいな静かで温暖な地方都市にかなりの日本人駐在員がいるそうですが、病院に入るような病気になった際には皆バンコックまで来るそうです。

もう 1 つはタイの政官民です。政官民と言えば日本では悪の見本のように聞こえますが、タイでは全く違います。タイの政官民は王室の後押しもあって、「病院はサービス産業」を推進しています。同時に将来の介護もそのプランに入っているように思っております。

厚生省での Dr.Pratt(国会の副議長であり、国会の厚生医療委員会の委員長です)のお話によりますと、1 週間程度の Health Tour(健康診断・タイマッサージ治療・漢方薬治療・薬膳料理・気功)を政官民で近々取り組みたいという話でした。

ここで第 1 の驚きの、夏季会報にも書かせていただきました
バムル病院についてももう少しご紹介いたしましょう。

その前にご参考の為に比国とマレーシア・ペナンでの医療事情について少し触れておきたいと思えます。

2 年前に竹内日本人村調査を致しました時、南の会会員の深沢先生(島根にお住まいの病院勤務のお若い外科医の方です)にも御同行願ひ、プエルト・アズール Hotel 医方室、プエルト・アズールより東で 20 分程の処にある小さな地方病院、そして比国 No.1 のマニラにあるマカティ・メディカル・センターをそれぞれ訪ねました。

マニラにある日本人会には 1 人の日本人医師が詰めており、患者・病気の相談にのっておられました。治療することは許されておりました。

プエルト・アズールと小さな地方病院での治療は風邪、腹痛、虫に刺された等々はよいとしても、それ以上は?でした。

しかし、マカティ・メディカル・センターは立派な病院でした。深沢先生と Dr.Trocino(1995年長崎医大卒)とお話いただき、また医療器具等を見ていただいた結果、この病院のレベルは日本の地方都市の大きな病院並みではないかとお話でした。比国のこの大病院のシステムはアメリカ方式で、病院とクリニックがそれぞれ独立しておりまして、入院している患者の名札の下には xx 先生、&&先生と御専門の医者担当の名札が付いていました。

比国で、日本語が話せる医者は多分 Dr.Trocino だけだろうと Dr.Trocino がおっしゃっていました。もっとも Dr.Trocino の奥さんは日本女子大卒で Clinic を開業されておられるそうです。

マレーシアでは、星野さんにペナン島の病院の入口・玄関までお連れいただいて簡単な説明を受けたのですが、仲々立派な建物の中病院でベット数は 150 位だったのでしょうか、1階フロアにある受付を見る限り広々としていました。日本の最近の大学病院並みでしょうか。日本語がしゃべれる事務受付の世話係のマレー人の男性がおりました。

さて、次は皆様方を Bangkok のバムルンラート病院にご案内いたしましょう。夏季会報でレポートさせていただきましたように、タイでは医療が4つに分かれているように思われました。

① Rich people, VIP が使う高級な総合病院

高橋さんのご紹介によりますと、

バンコックに 14 病院
チェンマイに 4 病院
プーケットに 1 病院 があります。

これらの病院ではほぼ日本語が通じるようですが、通じるといっても受け付けだけなのか、何人かの医者も居るのか、多分看護婦はごくごく限られているのではないかと考えております。

② 5つある大学病院での医師のインターンの Training

24 あるタイの大学（ちなみに日本では大学と名の付く学校は 300 位あります）の中で医学部は9大学にあり、卒業者は毎年 1500 名です。

日本での医学部はどの位あると思いますか？都道府県に各 1 校 + 私立 20 校で 80 大学です。毎年の卒業者は約 8000 名です。

タイでのインターンの大きな違いは、3年目から5年間行うそうで、日本のような徒弟制度ではないそうです。

③ 一般の国民が治療を受ける26の王室病院です。

④ 辺りな地方で医療設備の全く無い処には、王室の医療キャンパス隊が無料医療に従事しているそうです。

タイにおける医療の考え方を推測いたしますと、

1. 慈善事業的な慈しを王室中心に行われてきた。
2. Highclass Medical Treatment Business として考えられている。

今、申し上げました慈善的医療は既にタイに定着しつつあり、タイでは尊敬される王様の次に坊さん、その次に医者だそうです。むべなるかなですね。

Business としては、

Highclass の医療 Business としては、前に申し上げましたように全国に 19 の大病院が List-up されて、そのレベルは世界的ではないかと考えております。

さて、介護ですが、これは多分 Highclass の医療 Business と結びつく必要があるのではないかと考えております。

バムルンラート病院の元副院長タヌース先生（S-38年東大卒）によりますと、これら

の医療 Business を International に展開しようとしている医師のグループは現在数グループあるそうです。

その一つが Dr.Pipadh を中心にしたアメリカ、テキサス大学卒業の医師仲間とタイ政府の元幹部等々です。最近の話ですと、このシルバー・ホスピタリティ (株) がタイ在住 25 年の日本女性を採用し、看護婦、老人介護を視野に入れた日本語教育プランも考え始めたそうです。

タイの有識者の話によりますと、例えば日本人の老人を対象に介護事業を考えた場合の問題点は、

- ① 日本語の問題
- ② 宣伝
- ③ 資金 (海外)

で、医師・看護婦は全く問題なく国のサポートもその時期が十分に満たされているそうです。

最後にバムルンロード総合病院の受付までご案内いたしましょう。

- 1 階…車寄せ・ボーイ・エスカレーター
- 2 階…Coffee shop ・マクドナルド・日用品 shop
- 3 階…受付 Floor

メーリングリスト貼り付け

ペナンの最近

ペナンに大きなショッピング モールが誕生しました。 ガーニープラザと言います。

それは巨大なものでガーニービーチから裏の通りまでぶち抜きです。 場所はガーニービーチのロータリーのすぐそばで、毎日沢山の買い物客と物見の人が押し寄せています。

近くのアイランドプラザも危機感からか、毎日 SALE です。お陰で消費者は安く買えるわけで、このでの戦争は大歓迎というところです。

地階に大フードコートがあって、日本食のコーナーも出来ました。

TAMAGO-DON (rice bowl topping with omelette) AlaCarte	5 RM	Set 8 RM
OYAKO-DON (rice bowl topping with chicken meat)	6 RM	8 RM
KANITAMA-DON (rice bowl topping with crab stik & egg)	6 RM	8 RM
TENPURA-DON (rice bowl topping with deep fried dish)	6 RM	8 RM
UNA-DON (rice bowl topping with eel & egg)	14 RM	16 RM
YAKI-UDON (fried Udon)	6 RM	8 RM
YAKI-SOBA (fried yellow noodle)	6 RM	8 RM
TENPURA-SOBA (Hot soba with deepfried dish)	7 RM	9 RM
TENPURA-UDON (Hot udon with deepfried dish)	7 RM	9 RM

* 1 RMは約30円と計算してください。

3階のアウトレットの店では、TOMMYのパンツが49.9RMで1本買うともう1本オマケでした。ですから1本750円の計算です。子供のころからオマケは大好きです。

木村義光、まゆみ (y-kimura@comlink.ne.jp)

山田 長政 Memo

【アユタヤ王朝の最高位貴族になった駕籠かきの倅】

東京都町田市在住 会員 No.47 三井田 雅俊

- * 1590 年（今から 411 年前）駿河に生まれ、1630 年シヤム（タイ）で毒殺される。
- * 当時の日本は朱印船貿易（70～300 トンの船で 30～90 人乗り）による大航海時代。
始期は 1592 年（秀吉時代）という説と 1601 年（家康時代）の 2 説あり、鎖国政策が始まる時期（1636 年）まで約 30 年続く。
これは徳川幕府による関ヶ原浪人及び大阪浪人対策すなわち戦国武士の輸出（30 年間で東南アジアに渡った日本人は数十万人とも言われている）と、当時世界の 1/3～1/2 の算出を誇っていた銀による貿易流通を目的とする国力増進策の一環であった。
- * 長政は 1612 年(22 才)で台湾経由でシヤムに入る。
1600 年にアユタヤ日本人町が出来ていた。
1620 年にアユタヤ日本人町の頭領（4 代目か？）になる。
長政は当時 600～800 人の日本人傭兵隊を持ち、日本人はその家族を含めて 3000 人程度であったのではないか。
1621 年にスペイン艦隊を破り、これによりアユタヤ王に重用された。
1626 年にはオークプラーセーナピモックという、上から 2 番目の貴族に任じられた。
駿河の大久保家の六尺(駕籠かき)の家に生まれた者としては大立身。
1629 年にオークヤ(貴族の第 1 位の地位)に昇進するも数多くの政争に巻き込まれた。
1630 年に毒殺された(40 才)。日本人町も焼き打ちに遭い、多くの日本人はカンボジアやミャンマー（ビルマ）に逃亡した。
ミャンマーのケントン州（中国・ラオス・タイの国境地帯—チェンマイの北にある）の高原地帯に住むゴン・ミャン族に 62 人の日本人が逃げてきてかくまわれた。今でもこの部族には日本の風俗（左前の衣服、白い葬式の喪服、箸で食事をする、丁寧に頭を下げる、等々）が残っており、日本人の血を引いていることを誇りにしている。
- * 山田 長政の評価は、貿易家というより侵略家長政という見方が強い。
当時のタイは小国であり、外国人による交易を歓迎するもシヤムの国情や習慣を知らずに内政に干渉した者を排撃する力に負けたわけです。
またその一方でタイでは、タイに住み政治に登場した人はすべてタイ人であるという感覚もあるようで、長政が日本人であるという意識は薄く、アユタヤ王朝の一要人、一武人みなされている。
- * 日本軍部の南進政策として 1935 年(昭和 10 年)に日本海軍の練習船が日本から桧材を運び、アユタヤに長政神社(山田神社)を建ててしまった。
また 1941 年(昭和 16 年)にテイチクが東海林太郎の“山田 長政の唱”を作り、日本の

南進政策を煽った。今でも、東南アジア人が日本人に対し「好戦的」というイメージを抱くその原型は、山田 長政にその原点があるとも言われている。

* 10年ほど前にテレビドラマがタイで放映された。

山田 長政（勿論、現地名で）は、タイのアユタヤ王室の内部紛争を治めるのに力を貸してくれた日本人であるという高い評価で描かれていた。

これをご覧になった皇太后から当時のタイ国首相に、「山田 長政の貢献を日泰の文化交流のしるしとしてプロモーションしては…」という話があった。

タイ首相より軍の総司令官に銅像を建てる計画を持ちかけたが、種々考慮の末、銅像は取り止めになり、神社と資料館建設計画に切り換わり、日泰観光協会が中心となって募金活動を始めた。

しかし、タイにある日本企業からは観光目的ではないか、という反撥と誤解があり成功しなかった。

その後、日本から歌手を招いての“チャリティー夕食会”の収益金で日本人町を整理し、また中曽根首相の来泰の際に500万円の寄付もあった。

メーリングリスト貼り付け

みなさん、こんにちは。

高校野球が終わり、台風も一過。朝晩が、秋めいてまいりました。ぼくは、この時期、ちょっと寂しく感じるのですが、みなさんは、いかがでしょう。

お読みいただいて、ご記憶にあるかとも、いらしゃるかと思いますが、先回の旅行で、6月14日にの Batu Ferringhi の宿で、眠っている間に、アリにかまれて、一週間後、シンガポールで、医者にかかり、その費用を、小額ではありますが、visa カードに、請求してみました。

住友海上のから、一週間ほど後に、請求用の用紙が送られてきました。比較的簡単な書き込みをし、医者からの領収書を添えて、投函したのが、7月31日。8月10日には、銀行振込がなされていました。まづまづ、スムーズな顧客サービスと評価できます。ところが、、、、

この際、保険の条件をしっかりと理解しておこうと思って、保険サービスご利用の手引き、という小冊子をおくってもらったところ、とても重要な保証内容の変更が、8月1日付けで、なされておりました。これまで、ぼくの場合のように、その旅行のために、あるいは、その旅行中に、そのカードを使わなくても保険が適用されていたのが、これからは、「カードを利用して、航空券、パッケージツアー等を購入した場合のみ保険が適用」と、変更されています。

等、が何を含み、何を含まないか、が全てのかぎのようです。いま、電話で念をおしてみたところ、公共交通機関（行き帰りの、リムジンバスや成田エクスプレスなどを、含む）利用のため、カードを使い、そのカードのコピーと領収書がそろっていれば、その旅行は保険の対象となる、とのことでした。

ちなみに、旅行中に、食事代やホテル代をカードで払っても、ダメだそうです。

visa カードに、旅行保険を頼っておられる方は、この際、利用の手引き、を新しく取り寄せ、さらに、ご自分で電話で問い合わせるなどして、確認して、自分なりに納得されておくことを、くれぐれも、お勧め致します。

下元 彬人 No.241

タイツアーの目的とその概要

東京都在住 会員 No. 3 池田 徳三郎

講演要旨

1. 関東支部長等の紹介

初めに、6月の総会に多くの会員がご出席頂いたことに事について改めて謝意を述べ、引き続き、総会の決定により、関東支部が新設されたことに伴い、最近の理事会で支部長に宮崎さん、副支部長に足立さんが選任され、今回の企画は両氏を軸に開催されたことを報告し、出席者に改めて宮崎さん、足立さんをご紹介致しましたところ、出席者より両氏の今後の活動を期待する大きな拍手がありました。

2. 講演の要旨

次いでタイ・ツアーについての報告に入る。

昨年のマレーシア・ツアーに次いで、本年はタイ・ツアーを企画いたしました。フライトに先立ち、情報交換会（6月16日）でタイ国政府観光庁の藤村様が「最近のタイ国事情」と題する講演を、そして、タイ・ツアー説明会で日本余暇研究財団**様の講演を聴き、大変参考になりました。

ツアーは6月24日から7月1日の8日間、バンコク及びその周辺並びにチェンマイとその周辺を視察調査してきました。この企画を担当なされた三井田さんの事前の周到な調査研究と現地間の事前打ち合わせの成果により、短期間でありましたが、大凡ツアーの目的を立派に果たすことが出来たと思っています。

今回のツアーの主目的は次の7つでありました。

1. 当会とタイ国日本人会との交流・親善を語り、情報の提供を受ける。
2. バンコクの医療施設、技術、サービス等を視察する。
3. タイ国の厚生省を訪問し、医療・介護に関するビジョンを伺う。
4. タイの日本語学習情報とバンコクの生活・住宅の情報収集。
5. チェンマイ在住の日本人会との交流。
6. チェンマイの医療施設その他生活環境等の視察。
7. 山岳部の少数民族の伝統文化（手づくりの織り・染め・刺し・工芸等）に触れる。

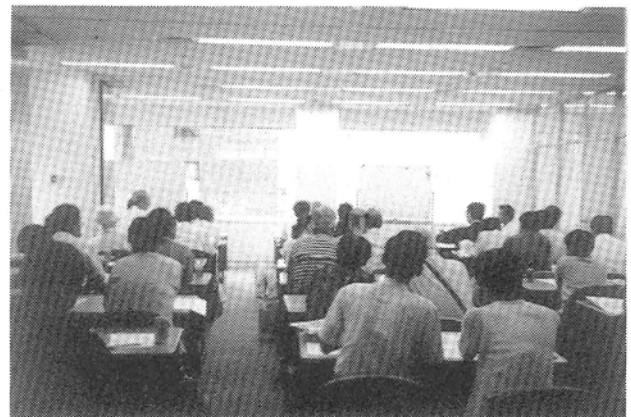
1から3に関して、会報（V o 1. 13）でご報告致したところであります。

また4. のバンコクの生活・住宅情報等は前記会報の「タイ国日本人会との懇談会」のなかで、現地在住日本人の生の発言をそのまま纏め、その概要をご理解頂くために掲載したところであります。

5. から6. に関しては前記会報に「チェンマイの日本人」と題し三井田さんが分かり易く上手に纏められておられます。

7. に関しては多くの日本人、その他の国々の人々が、多種の特色ある少数民族に関するそれぞれの研究調査目的（衣・住・生活用具等）のために訪れるほか、手づくりの魅力に取り付かれた多くの人々が訪ねている様子です。

残り時間少なくなりましたので、「タイの医療サービスは世界一」であり、それと関連すること。そして、大変な親日家の医師タヌース博士（Dr.Thanoos）のご功績の二点について残された時間お話しします。



情報交換会風景

タイの医療サービスは世界一

タイには24大学のうち、医学部があるのは9校、卒業生約1,500名、うち、米・英・仏・独等欧米先進国へ留学希望者が多く、日本の留学希望者は少ない。その最大の理由は日本語の難しさにあるとのことで、その意味で、残念ながら日本語の理解出来る医師は極めて少ないことです。タイの国立病院・有名な私立病院には最新の医療施設と海外留学のドクターを揃えているので医療技術・施設は日本・欧米と特殊部門を除き劣らないが、国立病院は診察料金等が安く大変多くの患者でいつも混雑しているとのことです。

在住日本人の多くは通訳のいる有名私立の病院に行くようです。多くの場合、海外旅行保険・その他の保険で十分です。治療内容にもよりますが、私立の病院でも日本の治療費の凡そ8分の1位だそうですから、日本の健康保険の凡そ自己負担額に相当することになるでしょう。

医療サービスはタイ王室の慈善医療活動も高く評価されていますが、特にナウスの人件費が日本と比較して著しく安く（月6-7,000円位）、患者に十分な看護サービスが出来るのでしょう。「世界医療情報」が、「タイの医療サービスは世界一」と伝える通り、日本人サイドからはただただ羨望の限りと言えましょう。

日本語を理解できる医師・看護婦が必要

日本人がタイの病院を選ぶ時、日本語を理解出来る医師・看護婦がいるか、いないかは、重要なポイントでしょう。従いまして、日本留学の医師・看護婦等の希望者が多くなるような方法が必要ですが、今後日本語を理解できる現地医師・看護婦の育成の要請はタイ国内で実施出来るよう、また日本留学等に対する日本の強力な援助が、在住日本人の多いタイでは欠かせません。両国厚生省の大きな課題でしょう（医師・看護婦の相互交流、海外援助等を含め）。

このことはタイ以外の海外在住日本人の多い諸国にも言えることです。例えば湾岸戦争で、日本は、130億ドル（当時1兆7千億円）を支援したこと、その他の多くの海外支援と比較して、日本語理解の医師・看護婦の要請を満たす援助は願望願いたいものです。

流暢な日本語をお話になる「タヌース博士の功績」についての話しは前記会報（P21参照）に掲載、ここでの話しは再掲を省略します。

この度の報告会では、限られた活字の紙面では言い尽くせない事柄を大いにお話していただく機会を得ました。この機会を直接与えて頂きましたのは、チェンマイ在住の水間様の来日であります。短い多忙な日程を私たちのために、本日割愛していただく事が出来ました。水間様の歯切れの良い講演が大いに期待されるところです。その他の講師の方々も大変な勉強家ですので、楽しみです。タイムアップで、お後が宜しいようで。

タイ調査旅行に同行して

多摩市在住 会員 No. 134 松岡 且 視

私は三年程前から海外のロングステイを考え始めました。主に東南アジアの良い所、例えばフィリピン、マレーシア、オーストラリア、ハワイ、台湾などを候補地として 2, 3 度見てから決めようと、ただ今検討中です。私にとって理想的な場所は、海、ゴルフ場、森林があつて、市街地に近い所。今のところオーストラリアのゴールドコーストが一番手かな?…と思っています。

ところでタイについては昨年 5 月、チェンマイに 10 日程滞在しました。外食も安くあがり、果物は豊富で美味しく、住居のアパートは 2~3 万円、庭付き戸建てで 6~7 万円といったところ。郊外は美しくドライブには最適! ただ時期が悪く、最も暑い時期でしたので心身とも参りました。

今回はバンコクの初日に日本人会の皆さんとテーブルを囲み、話が弾みました。また車でアパート、マンションを見学しました。1DKで 3 万 3 千円、2ベッドルームで 7 万円くらいのものでした。一概に高い安いは分かりませんが、一般論として市街地は高いようです。

夜はどこかで外食を楽しもうと、三井田さんの先導のもと、ホテルから 20 分程歩いてようやく着いたのが電飾輝く「海鮮市場大酒楼」! 外観は体育館を思わせる程大きく、さながら市場が屋内に入ったような感がありました。客容積は 1,000 席以上あり、入り口を入ると前面で 20 人程のコックさんが盛んに腕を振るっておりました。好みの食材を何点か選んで会計を通ししばらく待つと、できたての料理が次々と運ばれてきます。皆さん十分満足の体でシーフードを楽しんだようです。その証拠に次の日も同じ場所で夕食を楽しんだのです。

5 日目は皆さんと別れて、春号で戸田さんが紹介された「ハッピーバレー」を家内と一緒に訪問しました。16 戸の集合住宅もほとんどできあがり、7 月末には完成の予定です。近くの山から見下ろすと、ゴルフ場と森林が眼下に広がり、その向こうには海岸の砂丘が脈々と続き、なおその先にはホアヒンの街並が細長く見えます。そのもっと先には王室の避暑地と空港があり、風光明媚な光景にうっとりとして見入ってしまいました。この地は自然破壊もなく、それでいてインフラは整備され、治安についても心配なさそうな印象を受けました。ゴルフ場については、リゾートから車で 20 分のところに 6 箇所のチャンピオンコースがあります。私はその内の一つでプレイしてきましたが、キャディ代込みで 2,800 円でした。施設のテニスコートは夜間照明付き、近傍で園芸や海釣り、観光などが楽しめるようです。

置いてあったパンフレットの内容を一部下記してご報告を終わります。

- | | | |
|---------|--------------|-------------------|
| (1)募集金額 | Aタイプ: 280 万円 | Bタイプ: 140 万円 |
| (2)無料宿泊 | Aタイプ: 40 泊/年 | Bタイプ: 20 泊/年 |
| | 延長宿泊は | 1ベッドルーム 4,500 円/泊 |
| | | 2ベッドルーム 7,800 円/泊 |
| (3)利用期間 | 10 年間 | |

タイ・チェンマイに住んで

講師 水間 伸明氏

記者 会員 No.163 宮崎 哲郎

講演要旨

はじめに

タイは近年大変発展し経済的に余裕が出てきて昔は「汚い」「エイズ」が看板だったが清潔で住み易く、生活も快適になって来た。今タイ・チェンマイに住んで5年を過ぎようとしている。今年66歳になった。勿論年金生活であり、このために年2-3回くらい日本に帰ってくるがそのたびに日本の物価が異状に高いのを感じるのので出来るだけ短期に滞在して、タイに急いで帰ることにしている。タイとの繋がりは過去商社に勤務した関係で多々あり退職後の場所として選択した。現在若いタイ人の妻と子供の3人で暮らしているが、現地では決して奇異であったり不思議な事でもない。年齢差に関し抵抗がない風土がある。

日本人の70歳の方が18歳の女性と結婚しているケースもある。

(1) 物価。生活費

物価は日本に比較し約1/5-1/6、人件費は1/10くらいであり、日本円10万円有れば約5倍の40-50万円レベルの価値があると思う。10,000円(3,500パーツ)が女性の一ヶ月分の給料に相当し、現地の人の生活費は約10,000-15,000円である。現在自分達は大変セキュリティの良いホテル形式の住まいに住んでいるが、月10,000円の家賃でこれを含め一ヶ月の生活費は60,000円くらいである。現地のタイの人々と比べ、これは約3倍くらいの生活レベルであり100,000円(20,000パーツ)も出せば使い切れないほどの価値がある。毎日カラオケ、マッサージに行ったりして贅沢してもおっつかない。

因みにマッサージは100パーツ(300円)の世界である。

理髪は良い所で100パーツ(300円)自分は現地の人と同じ40パーツ(120円)で済ませている。メイドさんは6,000円くらい。いずれにしても人件費がベラボーに安い。

(2) タイ人の性格

タイの人は明日の事や将来の事は余り心配しない南国特有の大雑把な性格であり、他人に対しても非常にアバウトであるのでこちらも几帳面に対応しなくても良い。しぼりや規制が無いので生活しやすく思う。周囲がそうなので自分もタイ人の性格になって来た。

治安は非常に良い。

人種差別はまったく無く日本人には特別に良い感情を持っているので、日本人とわかると愛想が良くなり、相手が女性の場合自分に気が有るのではと誤解するほどである。(ホントカーナー?) 家族の中で最も大事にされるのは子供であり母系社会である。

(3) タイでの日常生活、気候

朝早く6時に起きて近所の大きな池の近くを1時間ほど散歩し、食後は子供を幼稚園に送りとどけ、午前



なごやかに話す水間さん

中はタイ語の勉強し、昼食後は昼寝、水泳に行ったりする。たまにマッサージ（2時間程）にかかりながらビールを飲んでほろ酔い気分を楽しんだり、友人とコーヒーを飲みながら談笑したりのんびりした生活をエンジョイする。（お陰で現役時代のストレスによる不正脈が治った）もっともタイのマッサージ（トラディショナル）やカラオケには若くて美人が多いので妻がうるさくなかなか行けないのが難点である。

夜は日本のことに大いに興味があるのでNHKの衛星放送を見て過ごす。

チェンマイには多くの年金生活の年配の人が住んでおり時々日本人会の会合が開催されるので必ず出ている。日本人同士の接触は多い。

チェンマイは標高800Mのところであり、気候は4月は暑く35度くらいになる。10月から乾期に入り寒くなり、時期的には1-2月頃が一番良い季節である。暑いときは堪らなく暑いので、なかなか湯量の豊富な温泉があるがとても入る気はしない。雨期になると洪水が有る程雨量は多い。

（4）交通事情

運転マナーは悪く荒っぽいので事故が多発。大体ライセンスが非常に取りやすいのも問題。前進、バックして元の位置に戻るだけで免許が取れる。これでも取れないのがあるなんて信じられない。人身事故（死亡）は30万円で片がつく。ペーパーテストは日本人の場合、少しお金を出せば解答がその場で帰ってくる便利なシステムになっているので心配無用。

自分の身は自分で守る必要があり、これを肝に銘じておく事肝要。特にバスが危ない。バスの運転はカーブを曲がりきれない程のスピードを出しよく横転事故を起こす。そのとき補償を逃れるため真っ先に逃げるのが運転手である。ほとぼりの冷めた頃その運転手が出てくるのには驚かさせる。ヘルメットとシートベルトについての違反は厳しく取り締まられるので注意。車は高く日本車は日本で買う時の1.5倍する。

（5）ビザ・年金等について

現在自分は観光ビザで滞在しており6ヶ月有効なので更新のため一時国外に出る必要があり、マレーシア、ラオス、ミャンマー等に行けば簡単にエクステンションできる。ラオスなどはバスで行き1-2時間の滞りで更新出来る。退職者ビザは55歳以上80万バーツ（240-50万円）送金し銀行に預金するか、年金15万円/月以上日本である事を証明すれば条件はクリアする。

年金を日本からタイへ送るのは国がやってくれるが10%取られるのでそれはやらないで、帰国時に引き出す方法を取っている。（10万円以上は10%TAX）

現在タイの銀行金利（ドル）は4%である。

（6）生活情報

1.) 不動産について

自分の過去の経験から買わないで借りる事をお奨めする。基本的に土地は所有できないので誰かの名義になり、関係が絶たれた時全部取られることになる。年金生活者は何も手を出さずブラブラしてるのが一番の金儲けと言われてる。

現在住んでいる所はホテル形式のレンタルハウスで面積は15畳、バス、トイレ付きキッチン付きは20,000-30,000円/月。部屋数は3-4部屋ありハイクラスである。いずれもセキュリティは完全で住人は現地の人より外国人が多い。

2.) 交通手段

タクシーは無く三輪車を改造した乗り物及びトラックを改造した一種のバスが庶民の乗り物である。

3.) 日本食

日本の食材はほとんどあるが海草類はないので帰国したとき買い入れて持ち帰る。日本酒はあるが現地産

で不味いので期待しないように。ビールは非常に安い。

4) 言葉

日常語はやはりタイ語を使う必要がある。タイ語を使った方が物を買ったりサービスを受ける場合値段が安くなり、生活費も違って来る。家族間では日常タイ語である。タイ語の学校はピンからキリまであり高くないので是非憶えて生活に生かす事が必要。

(注) 要旨取りまとめ担当者として一言：会場での水間氏のお話はご本人の話術、キャラクターとあいまって持ち時間があつと云う間に過ぎるほどで、会場爆笑の連続でした。オフレコの話が多すぎてここに記載できず、担当の文章力の無さによりその面白さをお伝えできない事をお詫びします。

メーリングリスト貼り付け

お世話様です。NO18の木村です。

凄惨なアメリカのテロ現場に目を奪われ、被害者のご家族の現在に心しました。

私達はペナン島でイスラムの隣人として、イスラムの人たちにも、あのような事件を起こす人たちばかりでは無い事を知っていますし、願っております。

HALAL

開店したばかりのガーニープラザの地階の食料品売り場での事です。ペナンも核家族化してきている為か、野菜、肉、魚何でも少なくバックして清潔に整えられています。

一通り買い物を終えて、レジでの出来事です。

品物をチェックしていた、マレー人と思しき若い女性の手がとまりました。その包みを指差して何か私達夫婦に興味したように言っています。マレー語と英語のチャンポンのようで、皆目なにを言っているのか解りません。何に対して興奮しているのか、良く見ると豚肉の包みです。少しの後、私達もやっと、彼女の興奮している訳がわかりました。

どうもNON HALALと大きく書かれたコーナーから持ってきた豚肉を「私は触れない、あそこで勘定をして来てよ」と言っているみたいでした。

イスラムの人たちは豚肉を食べる事は勿論、触る事も、同じ鍋で調理したものでさえ、食べれないことを思い出したのです。うっかりでした。私達はその娘に深く詫びて、NON HALALへ 引き返したのです。

知人の息子さんの話です。彼がKLで、日系企業の駐在員として暮らしていた時のことです。

ある朝、食事のかたづけをしていた、アマさん(メイドさん)が突然「私は帰る」と言い出したそうです。「ポークソーセージを食べた後の皿を洗わせるなんて、なによ、フーン」と言って帰ってしまったそうです。

HALALとはイスラム教徒が食べても良いものです。従ってNON HALALはムスリムが食べてはいけない物なのです。

木村義光、まゆみ (y-kimura@comlink.ne.jp)

連絡先 日本：055-274-0266 (Tel&Fax)

ペナン：899-4891 (Tel) 899-4941 (Fax)

聖なる森、ウダワッタケレ (スリランカ紀行)

東京都在住 会員 No. 428 岩瀬光子

スリランカ中央部にある高原の古都キャンディは年間を通じて「夏の軽井沢」の爽やかさと大自然に恵まれ、長期滞在には恰好の地といえるでしょう。土地の人々は心優しく親日的で物価も安く、三ヶ月も滞在すると航空運賃が浮いてくるほどです。ここが私の「第二のふるさと」になってもう二十年近く経ちました。長い間住んでいると当然さまざまな人との出会いがあり、また色々なことも起こります。以下は私の近辺に起きたことをオムニバス風書いてみましょう。

民宿選びの盲点

キャンディ(以下K市と省略する)に関する限り、民宿は夏のペラヘラ祭り(象が体中に豆電球をつけ、200頭位が行進する)の時期さえ外せば「買い手市場」です。例えばスイスホテル裏手の山側の道、ラジャピヒラを歩いてみましょう。そこには丁度イギリスの地方都市などでよく見かける「B&B」のような小綺麗な民宿が少なからず点在します。もし宿をとるべく案内を請うた時まずはトイレと寝具のチェックが必要。私は事



民族衣装の筆者

前にトイレを調べておかなかったばかりに、危うく溺れ(?)そうになったことがあります。便座がすっぽり外れて中に落ちたのである！ また別の民宿で夜ベッドに入ったら、枕、シーツ、毛布のすべてが異臭を放ち、安眠できなかったという経験もあります。それら民宿の概観はどれも一見豪邸、室内も一見清潔で、眺望絶佳、料理もおいしい……でもそれらに目が眩んではいけない！ 大切なのは表より裏側にあるのです。

ホテルも同じことが言えます。私は短期間でしたがK市で最も格式の高い、あるホテルに泊まったことがあります。その日の夕方シャワーを浴びていたら一度は流れ去ったかに見えた排水が逆戻りして来て往生しました。このような時はフロントなり支配人に苦情を言うことです。この時も、そしてマウントラビニアの一流ホテルでモーター騒音がうるさかった時も、別のもっと良い部屋に換えてもらえました。私は決して英語が上手とは言えませんが、どこの国にいても、言わねばならないことを静かに話せば必ず良い結果が得られるというのが過去40年の経験から得られた信念です。

ある特急列車で

バックパッカー達の移動手段は電車やバスが主流です。私が常住していたK市からコロンボへ行く時も通勤列車であるインターシティ特急を利用しました。この特急は全席指定で、一週間前から売り出すので、とても便利です。また、週末の混み合った時以外は当日売りの切符が手に入ります。ある朝私の向いに座ったスリランカ青年との会話は中身が濃く、外国人にとって聞き流すには惜しい内容でしたので、その一部を紹介しましょう。

- (1) もし元気のよさそうな乞食…例えば子供か赤ちゃんを連れた若い女乞食(この赤ん坊は多くの場合、乞食株式会社(?)からの借り物とか)…につきまといわれたら、さり気ない調子で「エパ」と言いなさい。それでも離れない時は「エパ、エパ」と二回言えば大抵の乞食ははなれるはず。
- (2) 泥棒やスリから身を守る自衛策として、ポシェットやウエストポーチは袋の部分の前にして身につけ、中には交通費程度の小銭とエチケット用品位に留めておこう。大切な物は街角で売っている

新聞紙にくるんでポリ袋に入れ、それをぶら下げて歩く。人混みではそれを抱えるのだが、できたら市場や道端で売っている果物や野菜をその中に入れておけば演出効果は更にあがる。

- (3) スリランカ人は人の年齢を知りたがる(日本人も同じ?)。親しくもない人との会話の中で年齢をきかれたら必ず49歳止まりにすること。40代はまだ逃げたり抵抗したりする力があると思われるので、簡単には襲わない。40代でも貴女のように白髪の人もいるのだから、貴女はいつも49歳。それでいいのだ! 泥棒は「泥棒です」という顔はしていない。ニコニコして優しそうでも決して気を許さないこと(日本でも同じですね)。
- (4) ネックレス、イヤリングや指輪等を身に付ける時は安物を身に付ける方が賢明。うっかり本物や高価なものを身に付けて褒められたら「実はまがい品なんですよ」と言うこと。先日僕の妹が出勤時22金のネックレスをひきちぎられそうになり、首に怪我をした。
- (5) 人前で、大金の入った財布を取り出し、中身を他人に見られたりしないこと。一瞬の内に強奪されるかもしれない。盗む方が悪いのは当然だが、盗まれる方にも落ち度がないとは言えない。
- (6) 日本は金満国で全ての日本人は「金持ち」と思われている。であるから日本人を知り合いに持てば何か良いことがありそう、と近づいてくる人がいる。TPOにもよるが、「日本人?」と尋ねられたら「チャイナ」とか「マレーシア」とか返事した方が良い場合もある。気安く、時には凶々しく近寄ってくる人には要注意。国籍、民族を問わず、本物の紳士淑女には必ず共通点があるはず。それを見定めてスリランカ人と付き合ってください…等々。

以上は常識的ではあったが新鮮なアドバイスも含まれていた。列車はコロンボ駅に到着し、私達は手を振って別れた。ちなみに彼はコロンボの繁華街に宝石店を持つ青年実業家だが、最後まで「僕の店に一寸立ち寄ってみませんか?」との誘いの言葉は無かった。彼は本物の紳士でした。

コイン (小銭) の話

スリランカの「サンライト」は無香料で手造りのような素朴さのある石鹸です。私はある朝(1992年春)いつものように近所の何でも売っている雑貨屋へキングコナツツを買いに行った時、私の愛用しているサンライトがいつの間にか4.8ルピー(当時1ルピー=4円)から6ルピーに値上げになっていたのを発見しました。そしてその横にはナイフで半分に切ったサンライトが3ルピーで売られていたのです。私は店の主人に「どうして半分にして売くの?」と尋ねました。主人が言うには6ルピーが払えない人のためだ、とのこと。ピラミッドの上層部の人達のは知る由もないが、大部分の貧しい民衆は互いに助け合いながらコインで生活しているのだと、この時しみじみと実感しました。

私達は円高の恩恵を受け、外国ではちょっとした小金持ちになったような錯覚に陥ることがある。コインはたまと重くなり、つい粗末に扱いがちです。しかし一円を笑うものは一円に泣くというではないか! 先刻述べた特急列車には喫茶車両がついていますが、皆さんがここを利用される折は是非小銭を準備されることをお勧めします。一昨年私はこの車両で5ルピーの紅茶を注文し、10ルピー札を出したところ「おつりがない」…「おつりは後で結構ヨ」…(しばらくして)…「先程のおつりは?」…「小銭はない!」とのことで結局おつりは戻って来ませんでした。この鉄道は国営、スタッフは公務員のはず。もし彼らがこういう形で間接的にチップを要求したのであれば、それはコロニアルメンタリティーの現れであると思う。チップはチップ、おつりはおつりと分けるべきでしょう。小銭を用意しておくことは精神衛生上にも良いと思われます。



石鹸を半分にして売っていた店の主人

コロンボ駅構内のキオスクのような売店では紙に包んだ各種の飴を一つ50セン(2円)で売っています。駅

員や客が通りすがりに一つ買っては頬ばって歩いていたので、私も二つ 1 ルピーで買い求めました。ベンチに腰掛けてこの飴を舐めていたら現地に溶け込んだ気分になり、限りない幸福感に酔いしれました。同じ構内にコーヒースタンドのような小さな茶店があり、菓子パンや紅茶、コーラなどを楽しむことができます。紅茶は 2.8 ルピー(2001 年現在 1 ルピー=約 3 円)でしたが、何故か日本一を誇る大ホテルのそれよりもずっとおいしかった。

K市商業地区の裏通りでの話ですが、そこは小さな店がゴチャゴチャ並び、道路は狭く車で一杯でした。歩道の通行人は肩を触れ合って歩いています。私と友人のニマルは、とある小さな紅茶専門店に茶を求めました。見るともなく見ていると、横にいたオバサンが薬包紙に包んだものを一つ、大切そうに受け取って出て行きました。ニマルに「あの紙包みはなに？」と尋ねると、「スリランカには紅茶もチョッピリしか買えない人が大勢いるんだよ」とのこと。ここでも一円玉のようなコインが巾を利かしていました。コインは民衆にとって「生活の主役」なのです。

聖なる森、ウダワッタケレ

ウダワッタケレはK市の中心にある佛歯寺の真裏にある聖なる森で、欧州のバックパッカー達の間ではよく知られています。この森に入ると、人や車、バスや自転車、牛や犬、時には象まで混じり合い、ごった返している中央市場がすぐそこにあるとはとても信じられません。この森には時折、小中学生がグループでピクニックや写生に訪れるそうですが、広大な苑内には屑籠もないのにゴミ一つ落ちていません。それはこの地区が聖域だからです。この森は、皆さんにも是非一度来て頂きたい穴場。一度足を踏み入れると、何故私がお勧めするのかがお解り頂けると思います。しかし時として不可思議なことも起こるので、特に女性は男性と共に来て頂きたい。次の話は先年、私の友人ニマルから聞いたものです。



池と佛歯寺とウダワッタケレの森

オーストラリアからカメラマンが一人、この神秘の森にやって来た。ここは掛け値なしに素晴らしい被写体の宝庫！ 彼は何時間もかけ、夢中になって撮影した。その間彼は誰とも逢わなかったため、カメラを道端に置いたまま草むらに入り用をたした。その間、一人の黄衣をまとった僧侶が通り過ぎていったのを彼は見ている。用を終え道路に出て行った時、大変高価なカメラはそこになかった。

さらにもう一つ、これは私の実体験。私はこの森を二回訪れていますが、第一回目は 1989 年の春、イタリアの若く美しい文化人類学者 LEDA に誘われた時です。宿で作ってくれたお弁当と水筒持参で五時間ほど、ときには語り、ときには猿の家族と逢い、そして厚い落ち葉の上で憩いをとり、この聖なる森林で至高の時間を共有した。その間人間に出会ったのは一度だけ、森林管理人とおぼしき男性二人だけでした。

初回にあまりにも良い印象を受けたので、翌年「日本スリランカ友の会」の仲良しで画家の S 夫人を「聖なる森」にお誘いした時(1990 年)のことです。この盗難事件については約一ヶ月後のデイリーニュース(スリランカ最大手の新聞)で報道されました。その日苑内に入ったところで学生風の若者が二人、「ハロー」と挨拶をしてきました。それでお仕舞いと思いながら先に進んだら、「僕はトパーズホテルのブティックに勤めているペレラと申します。お会いできて嬉しいです」と、美しい英語で話しかけてきました。彼等はこれから左の道を行き、修行僧の集まる寺院に行くという。「ご一緒にいかが？」と誘うので、私達は右の道を行くので、これで失礼、とスタスタ歩き出したのですが、「この先には岩窟寺院があり、80 才位の老僧が一人いる。案内しましょう」と先に立って案内人よろしく歩きだしました。「私達はお寺にもお坊さんにも興味はないの！この森の大きい自然を楽しみにきただけなの！ここでサヨナラ」と断ったのですが、ペレラは「この苑内には泥棒が出没することがあり、物騒です。はるばる遠い日本から訪れた二人の女性を僕らは守る義務がある」と、空手ショウまで見せてくれました(ヌンチャクを持っていた)。二人とも竹林の中

で玉の汗を飛び散らせながらの大熱演で、大変見応えがありました。その後程なく小さな岩窟寺院に着き、入り口の石の上に四人とも靴を乗せ、持ち物や帽子もその上に置いて、老僧にお目にかかり数分後寺を出ました。その際私はペレラにお布施の目安を尋ねたが、貴女方はゲストなので不要との返事でした。

先程の竹林のそばにさしかかった時、ペレラが急に心配そうに「何か無くなっていませんか？泥棒にやられていたら大変」と言い出したのです。S婦人は異常なし。私のバッグの中は……ない！財布だけがない！彼は飛び上がり、「今来た道に戻って探そう」と言い、棒切れで落ち葉を掻き分けながら歩きだしました。結局見つからず、青年達とは出口で別れました。ところで後で気付いたのですが、私達が老僧とお別れの挨拶をしていた時、もう一人の青年が席を立ち一足先に表に出て待っていたことを……盗られたのはそのごく短い時間ではなかったか？他に思い当たることはない…何たる早業！しかし一番の原因は山寺ということで気を許し、バッグを身から離れたことにある、と深く反省した次第です。

二日後には帰国することになっていたため、次回訪問予定の半年後まで、警察との折衝は親友のニマルさんをお願いしました。彼は当時 29 歳、心優しく不正を憎む聡明な青年。以後彼は連日出勤前に警察に立ち寄り、捜査の進展を毎週レポートしてくれました。一方警察は被害者が帰国してしまったのでどうも熱が入らない。業を煮やしたニマルは考えたようです。「ミミ(私のこと)は単なる旅行者ではない。心からスリランカを愛する我々の仲間。彼女を悲しい目にあわせた犯人は許せない。スリランカにとって不名誉なことで、これは国際問題である。よし！僕が犯人をつきとめよう！」そして命がけの活躍が始まり、一ヶ月後には犯人が逮捕されたのです。

ところがその後、まだ厄介なことが続くのです。予定どおり半年後K市を訪れた私は、財布を返してもらうため、早速警察に行き再来訪の旨を担当者のSPに告げました。SPいわく、「金庫番の責任者は今日会議のため、コロンボに行って不在。」…その後毎週何回訪問しても「今日は出張」「今日は裁判所」「今日は…」と埒が明かない。そうこうしているうちに今度は裁判所からの呼び出し。豪雨の中裁判所に着くと、中は出廷者や家族そしてその友人達でラッシュアワーの電車の中さながら。雨しぶきのかかる廊下で飲まず食わず待たされること四時間。やっと順番が来て被告不在の法廷で二、三の質問に答えてそれで終わり。どこの国でもお役所仕事というのはこのように住民不在で行われるもののようで……。

私はこのような警察、裁判所の対応ぶりに業を煮やし、「警察署長に直談判したい」とニマルに相談しました。彼は早速知人を通じて面会をとりつけてくれました。所長は秘書もつけず二人だけで会ってくれました。私は新聞の切り抜きのコピーをお見せして、何故金庫番がいつも不在なのか伺ったところ、彼は一言「これは内部犯罪のようだ。明朝十時に貴女の持ち物はお返しする。お気の毒であった」と言ってくださいました。果たして翌日手の切れるような日本円が戻って来ました。私の財布の札はこんなに綺麗ではなかったけど…とは思いながらも、心から感謝して押しいただきました。その後コロンボの検察庁から呼び出しを受け、半日もかけて調書をとられました。聞くところによると、その後K市警察で大移動があったそうです。犯人のペレラの家は上流家庭で教養の高い名家であり、彼自身も格調ある英語を話し、明るくハンサムで背が高いと条件が揃っ

ているのに盗癖があったようです。現在はK市内のホテルでルームボーイをして働いているそうですが、更正していることを祈るのみです。

養老の滝、スリランカ版

テイラクさんは今年 38 歳の国家公務員でまだ独身。十年前官費で日本に一ヶ月間研修に来たことのあるエリートで、日本にはT子さんという心に決めた人がいます。彼女は毎日仕事が終わると街を案内し、週末は鎌倉など連れていってくれたそうです。彼は大の親日



彼女は 16 歳で 4t、もちろん象のこと

家ですが、優しい彼女との思い出があるからでしょう。彼は80歳を越えた母親と兄夫婦の家族と一緒に住んでいます。彼は朝起きると先ず母親の前日着用した衣類を洗って干します。就寝時にはどんなに疲れていても必ず母親の足を丁寧に洗い浄め、週末の夜には彼女の話に耳を傾け、共に語らいます。これらは彼にとって欠かすことのできない重要な儀式なのだそうです。日本ではとっくに滅びたと思われる「養老の滝」がここスリランカではしっかりと生きていました。そう言えば、スリランカの素敵なお友達は皆例外なく親を大切にしていました。この国は受け継ぐべき古い伝統は継承し、その上に新しいものを取り入れる、というのが基本姿勢なのでしょう。

私はこの国で、たとえ外見は貧しくとも、心は広く優しい、そして志は高く毅然と生きている多くの人と知り合いました。スリランカは丁度母の深い懐のような国、暖かくて懐かしいところです。

スリランカのチョコレート

世界一おいしいスリランカのコンドスチョコレートをご紹介します。このメーカーの経営者は、今は亡きウパリ。彼はマレーシアにココアの大農園を持ち、自家用機で新鮮なココアをスリランカへ運び、各種のチョコレートを生産していました。何しろ原料が新鮮なので製品には独特の旨みがあります。このウパリさんはこの会社の他にもいくつかの大会社を持ち、「THE ISLAND」という英字新聞のオーナーでもありました。彼は何びとの主観も交えぬ事実だけを、勇気をもって取材報道するジャーナリズムの原点を、しっかり守った人物でした。それは時として政治に関与する人々のスキャンダラスなスクープ記事という形になることもあったため、しばしば発行停止を受けたり、新聞広告もとりにくくなったりしました。そのような受難にも耐えながらその姿勢を崩さなかったため、陰のファンも多かったそうです。このウパリさんは実業界の大物でありながら人徳のある高潔な方でした。今から十数年前、多くの民衆の期待を受け、大統領選に打って出ることになりました。当時の政敵にとって彼は大変な強敵でした。そしてある日彼はマレーシアに自家用機で飛び立ち…そして消息を絶ちました。

人々は言います。「彼はどこかの牢屋でまだ生きている」「いや消されたんだ。それを知っている人達も消された」etc しかし彼の遺志は彼が育てた後継者達や彼を信奉する多くの従業員、そして心ある人々により立派に受け継がれ、ISLAND紙もそのポリシーを少しも曲げることなく今に続いています。そしてコンドスのミルクチョコレートも世界一の美味を誇り続けている……。

以上はスリランカの甘くてほろ苦い昔話です。皆さんも是非一度コンドスのミルクチョコレートを椰子の葉の下でお召し上がりください。



写真を撮ると金を取られます

最後に蛇足ながら一言お勧めしたいことがあります。スリランカの旅で一番大切なものは…貴方の笑顔。そして胸の前で両手を合わせ「アユポーワン」と言えば、どんな仏頂面も必ず優しい笑顔に変わるのは不思議な程。また、できれば「イストーリー(有難う)」、「ホンダイ(good)」、「ラサイ(美味しい)」くらいのシンハラ語を駆使(?)して頂きたい。そして素晴らしい出会いを重ねて、「心の宝石箱」の中身をひとつひとつ増やして行ってください。

神々の島で、ゆっくり、のんびり (バリ島滞在記)

神奈川県大和市在住 会員 No. 6 石川綾子

4月で夫が会社を定年退職しました。さあ、これから今まで、楽しみにしていたロングステイのスタート！これまで、色々な国に行き、何処がロングステイにいいか、少しは勉強したつもりでした。でも、以前2回行った、バリのゆったり、のんびりした時間の流れやバリ人の親切さ、人なっこい笑顔に、迷わず、それも、ライステラス、バリ舞踊で有名なウブドに、決めました。

シガポール航空にて、夜の10時ごろ空港に着く。車でウブドまで1時間半、日本を発って12時間、やっとコテージに着く。夫と満天の星空を見上げ、バリに来た事を、実感しました。

朝は、鳥たちのさえずりで、目がさめ、ベランダに出てアグン山の日の出を見て、散歩に行く。帰るとベランダまで、スタッフが朝食を持ってきてくれる。

昼は、涼しい風がおとるベランダで、本を読んだり、マッサージに行ったり、美術館に行ったり、お店をぶらぶら、プラス昼寝つき。

夜は踊りを見に行ったり、ベランダから月や星の素晴らしさに見とれたり、庭に飛び交うホテルの数を数えて、今夜は多いねとか、少ないねとか。

そんな、何をしてもない毎日を、過ごしてきました。ただ日本に居ては、感じなかったり、見えなかったものが、自然に体の中に、浸透していくようでした。夫も、長い会社勤めの疲れが、取れたようだとか、楽しんだようです。

私も、主婦の仕事から開放され、同じように、心から楽しむことができました。



航空券・・・シガポール航空の2ヵ月オープンです。代理店によって、同じチケットでも、値段が違うので、数件電話するといくと、思います。

コテージの人たちとオダランへ

ホテル・・・バリには、1泊5万円位以上のホテルもあれば、500円ぐらいの民宿もあります。今回は、前に泊まったフォーシーズンズサヤンの、日本人スタッフの紹介の、コテージに滞在しました。日本人の長期滞在者に人気の、コテージと聞いています。

14室のうち、6室は日本人でした。短期ですと1泊2500円ぐらいですが、長期なので1800円にダウンしてくれました。クーラ、バスタブ、朝食つきで、1ヵ月55000円とは、本当に安いでしょ。環境、部屋、スタッフ、そして値段すべて二重丸。

レストラン・・・ウブドには、色々なレストランがあります。私たちは、その中でも、綺麗で、安くて、美味しいところを、探しました。日本人の若い人9人がホナのビヤンララという、レストランです。シェフは、ウブドの一流ホテルの料理長だったという人で、何を食べても、美味しかったです。日本食が、恋しくなったら、漁師というレストランに行きました。

タクシー・・・メータタクシーが1番お勧めです。1時間乗っても、1000円以下です。

ウブドには白タクしかないので、値段交渉します。あちらが言うてくる値段の半分くら

ウブトには白タクしかないので、値段交渉します。あちらが言うてくる値段の半分ぐらい値切ると、メータタクシーと同じぐらいですよ。

私たちは、使う白タクを決めていたので、ドライバーさんが、友達プライスにしてくれました

治安・・・バリはジャカルタと違って、私たちは危ないと感じたことは、1度もなかったです。

クタやレギャンのように、賑やかな所では、スリや引ったくりがいて、聞きましたが海外に行けば、気を付けることは、どこも同じですから・・・

医療・・・下痢と吐き気でダウンした時、日本から持参した薬は全然効かず、ドクターの往診を頼みました。

ウブトクリニックといって、外国人専用の病院の先生が、すぐに来てくれ、診てくれました。頂いた薬を、1回飲んだだけで、あんなにひどかった、吐き気と下痢が止まったときは、バリの病気はバリの薬でないと、駄目だと思いました。風邪や下痢ぐらいの病気なら、バリの病院でも安心と思います。ちなみに、診察代と薬で、95ドルでした。

ビザ・・・2ヵ月までは、パスポートだけで、滞在できます。コテージの長期滞在者は、2ヵ月に1回シガポールに日帰りで行って、また2ヵ月滞在するそうです。

コテージに78歳の女の方が、滞在していて、その方は退職ビザを取られたそうです。1年更新とかで、取るのに13万ぐらい、かかったと、お話していました。

物価・・・お給料が、コテージのスタッフや、マッサージの人に聞いたところ、30万ルピア(3300円)エリートの仕事であるが仆で、2万円と本人から、聞きました。

現地の人が買って、食べているものは、10円とか50円とか・・・ただ、輸入品は、ポテトチップでも、2万ルピア(200円)もします。マッサージは、1時間700円ぐらいです。

今回、素敵なおブティックを見つけ、オーダでワンピース、スカート、パンツ、ブラウス、スカーフなど、沢山買いましたが、2万円ぐらいでした。日本人のお店で、日本のデパートに、卸しているそうです。日本で買えば、何倍したことか・・・

私たちは、2ヵ月の滞在で、バリ人のお友達も出来、オダラン(お祭り)に行ったり、お家に招待されたり、また、日本人の旅行者の方とも、お友達になり、日本に帰ってからも、お付き合いさせて頂いています。本当に心から、楽しんだ2ヵ月でした。

帰るとき、コテージの皆が、パパ、ママ、今度いつ来るの?なんて聞くものですから、私たちは、10月にまたまた、行く予定です。皆に会いたいから・・・



ドライバーさんとライステラスにて

バリ人が言っていました。バリとは、神々の島でもあるが、大きな休みの意味もある。皆さん! ゆっくり、のんびり、休んでくださいね。

オーストラリアのリタイアメント・ビレジ

東京都日野市在住 会員 No.110 藤本 靖人

パースの日本語新聞（月刊）によるとケアンズ、ゴールド・コーストで、日本人用リタイアメントビレジの計画があると報じています。

この国ではリタイアメント・ビレジは法律で何らかの優遇処置があるのでしょうか。国民（永住権および市民権の所持者）のためのリタイアメント・ビレジであり、その目的以外は許可されなかったのが現状です。したがってリタイアメントビザ所有者には開放されないと解釈できます。なぜならこのビザは単に長いだけで一時入国を許可されたにすぎないからです。では何故日本人用リタイアメント・ビレジが話題になるかといいますと、日本人永住者も高齢の方が増加してきており、長年この国に貢献してきた訳です。この人々は当然リタイアメント・ビレジに入居する権利はあるのですが、終末期になると母国語に戻ってしまうらしいのです。この事実から、日本人用ビレジが必要ということ当局が認める方向にあるとのこと。

こうゆう経緯ですので、皆さん日本人専用リタイアメント・ビレジが建設されて日本国内で募集をする業者がいれば、眉唾業者の可能性があるので十分注意が必要です。

また、こういう業者は日本のケアつきマンションで介護費用全額払込み数千万円で分譲し、亡くなると全額没収という条件ではないでしょうか、くれぐれも用心してください。

勿論、日本人永住者用リタイアメント・ビレジが建設されれば、リタイアメントビザで長年滞在している方々にも例外的に恩恵は受けられる可能性は十分あると思います。

現にゴールド・コースト(GLD)では2家族がリタイアメントビザで入居されている事実もあります。この2家族が入居されているビレジはアール・ヘブンといい、GLD 海岸から10km程度内陸にあります。しかしブリスベンとGLDを結ぶ鉄道のネラング駅のすぐ側であり、鉄道の場合GLDに入る一番近い駅でもあります。またブリスベンに通じるフリーウェイもすぐ横です。ここはGLDの華やかさは嘘のようなたたずまいです。

このリタイアメント・ビレジの概要を記します。

1) Independent Living Units

2ベット、3ベットのユニットに分かれています。90年間利用権で2ベットユニットが14万ドル(910万円)、3ベットが16.5万ドル(1072.5万円)です。トータルで380軒あり、2～4軒の連棟の建物でした。3ベットで120～150平方メートルと推定（こちらでは面積をあまり問題にしないようです）しました。一般の住宅に比べるとやや小さいかなと云う印象です。

土地はフロントヤードは狭いですがバックヤードは庭いじりに十分な広さがありました。解約した場合は原則支払った金額で返還ですが、次の利用者が契約するまで返還されません。但し1年以上決まらない場合管理料として年2.5%の割合で減額されます。3年以上は打ちきりとのこと。従って7.5%の減額が最大です、このユニットの住民は通常の住宅として、車を持ち自由に生活を楽しんでいます。

2) Serviced Apartments

ここは3食付きのホテル形式の区画で100室あるそうです。ここに入居するには3万ドル(195万円)程度必要とのこと。

3) Aged Care Hostel

ここは少し介護の手が必要な方達が入居されており、オーストラリアの介護制度の中に入りま

す。オーストラリア人でないと対象にならないのではと思います。

今後良く調べる必要があります。日本でいう**特別養護老人ホーム**と思えばいいでしょう。

4) Nursing Home

ここは**24 時間介護、および医療が必要なところ**と理解してください。オーストラリアのメディケアーの対象です。日本の医療法の**療養型病床群(介護型)**に相当します。

以上がこの施設の概要ですが、ここは**20 年**の歴史があるそうです。

岡田、佐藤様夫婦の評判は非常によく、日本人をまだ受け入れてもよいとビレジの責任者はコメントされています。

日本人の場合、**リタイアメント・ビザの取得(夏季号に記載)**と**民間の医療保険の加入が義務**付られています。3)、4)の領域は日本人は**メディケアーの対象外**ですから、どうなるか判りませんが、今後、検討しておく**必要があります**。佐藤様は動けなくなったら、帰国を覚悟していますとコメントされており、Living Units 利用に割り切っておられました。また岡田様の場合はお子様がオーストラリア永住権を所持されているので問題ないのではとのこと。お会いした佐藤様夫婦はオーヂィ（オーストラリア人）との交流したいとの強い意志を持って生活されており、この村の人気者だそうです。奥様は得意の洋裁で皆さんの洋服の修理を一手に引き受けていらっしゃる。英語なんて気にすることは無いですよ！と朗らかに話してみえたことは印象的でした。

また奥様から“こちらに来てから日本では忘れていたキスを毎日してますよ”とこれまたショッキングな発言、これぞオーストラリア生活の極意かなと妙に感心させられました。

ここでのお二人の生活費は、**800~1200 ドル(5 万 2000 円~7万 8000 円)**／月と日経マネー誌でコメントされていたと記憶しています。もちろん旅行、衣料、家具、家電などの費用は含まれません。

このリタイアメント・ビレジには、日本で介護施設の経験のある女性が、ボランティアとして一人いらっしゃるそうです。職員でないので何時までも居られるわけではありません。

オーストラリアのリタイアメント・ビレジはアール・ヘブンのような大規模なものは多くはないと聞き及んでいます。ゴールド・コーストには2~3箇所同規模のものがあるそうです。

パースには**セント・アイビス**という評判の良いビレジがあるそうですが、見学していないので詳しいことは判りません。パースにはリタイアメント・ビレジに**日本人職員**が勤めていらっしゃるとのことですので、次回に訪ねてみようと思っています。

昨年メルボルン郊外のベルデン・ロッジ（定員60名）に2泊させていただきましたが、ここは日本の個室型老人ホームと同じと思いました。上記の**Serviced Apartments** です。この経営者は中国人ですが、東京の青梅市の慶友病院にいた経験があり、日本語 OK でした。しかし居住者とのコミュニケーションは片言英語で四苦八苦でしたが、楽しくすごしました。経営者はロングステイを歓迎しますとのことでした。

まとめ

日本人リタイアメントがオーストラリアのこうした施設を利用する場合、佐藤ご夫妻のように OZ の中に上手く溶け込めるかですが、なかなか簡単ではないと思います。海外で第2の人生をと考える方々はそれなりに積極的な方々と思いますが、とにかく1~2年現地で生活され、OZ との交流に自信を得てからでも遅くはないと考えます。このへんが私の結論です。

平成 13 年 9 月

セブの田舎

さいたま市在住 会員 No 108 八 東 正

大きい海と広い空、また、セブに出かけます。同好のかた、お電話とか、お手紙をくださったかた、お越しください。私は 12 月 10 日ごろから 1 ヶ月位、現地に滞在しますので、その間、ご都合のよい 1 週間から 10 日程度を選んで 10 月 20 日までにご連絡ください。相談、調整の結果、1 グループ又は 2 グループに集約できれば滞在中のこと、セブ空港までのお迎え、お見送り、すべてがうまく出来ると思っています。

中味は勿論、色濃くしたいですが、例えばセブの町に 2 日、拙宅およびその周辺に 3 日、往と復、各 1 日で合計 1 週間になります。

飛行時間は成田⇄セブ直行便で 4 時間半ですけれども

往	成田発	14:55	セブ着	18:30
復	セブ発	8:00	成田着	13:30

ですからその日はセブでは何もできません。時差は 1 時間遅れ、上記の便は往復共に月、土、を除く週 5 回。

出発は成田でなくてもお近くの国際空港から最終的に決定した日にセブ行きに乗って結構です。原則として航空券はご自分で手配してください。

尚、初めての方、慣れない方、についてはおっしゃって下さればご協力いたします。費用は現時点では航空券 7 万、滞在費 8 万位合計 15 万程度と思いますが日程により多少変わるかもしれません。詳細、判明次第おしらせします。

もっとも安上がりする方法としてはセブ島 4 日間 6 万から 8 万というパックツアーも 10 月ならば HIS その他の旅行社でありますから航空券も含まれていますから割安の感があります。

ただ、12 月の中旬にはプラスいくらかになること、自由に動けるのは、なか 2 日間であること、滞在中のホテルと朝食は含まれていますがその他の食事、飲み物、交通費、などは含まれていないことに注意。

私は添乗員ではありません。皆さんとおなじ会員であり、よき友人でありたい、と願う者であります。営業行為というお言葉、皆無とは思いますが、チップ等、日本人が考えないもの、表面に出ないものは私の負担として処理することが多く、また、微々たる額。反論する気持ちすらない。としをとったな。自分でもそのように感じる昨今、世の流行じゃないけれど、私でも出来るボランティアだと思っている。

でも、そんな風流れない場合はこの計画は即刻中止させてください。いつものように、今年も独りで出かけます。そして小さい港町の茶店で地酒でも飲んで赤い顔してデジカメで赤い大きい夕日の写真を撮って来よう、なんて考えています。

田舎の建物は別荘なんぞではありません。山小屋というか、海のすぐそばにある掘建て小屋というのが適当、過剰な期待はなさらないように。15 年ばかり前、このセブの田舎、ドラゲット村に粗末な小屋を建てました。昭和 60 年、定年の年令でもありました。セブの町の中心から 85km、バスで 2 時間、海が好きで建

物はお粗末でも寝床から首を持ち上げれば海が見える、波の音が聞こえる夜もある、そんなところに椰子の木を少々切り払って建てました。

潜り仲間が喜んで来てくれました。夜は波の音、明け方はコケッコの鳴き声競争、村中の鶏がやる。それに加えて日の出少し前から古い荘厳な教会の鐘がゴーン、ゴーン、カンコン、カンコンとやりだす。毎朝です。もう一ツ、勘弁してくれっ。寝てられない。東京の人は物音ひとつしないところ、そこでないと眠れない。

私のところから海に沿って車で10分か15分、南下したところにドイツ人グループがあたり一面の土地を買い占めて団地感覚できれいな一戸建ての家を建てているが、建売りではない、この区画内の土地の選定から間取り、材料、すべてお客さんと相談しながら好みにあわせて建ててゆくから、1軒いくらか、と言う私の質問には答えようがないという。海側に近づいてみると、かなりの絶壁の上になっていてボートやヨットはあの階段を使ってください、と指差すところに、なるほど狭い通路が下のほうに伸びて紺碧の吸い込まれるような海に通じていた。

安い食事、いくらでもあります。でも生水も飲めないご自分をよくお考えの上で。安いホテル、いくらでもあります。でも、自分で自分の身を守れますか。私もよく聞かれました。安全はお金で買うのです。なにッ、自分も守れない？それじゃ、まるで赤ん坊じゃないか。セブアノ（生まれも育ちもセブの男）はそう、言う。

やっぱり、フィリピンは治安が悪いのね。これを聞くと、私はやりきれない思いがする。。現実の姿をご自分の目で見てご自分の答を出してください。

連絡先 八東 正 Tadashi Yatsuzuka.
Tel & Fax 048-822-7363
〒336-0012 さいたま市岸町 6-3-3 (旧 浦和)
E-mail ytzk@jcom.home.ne.jp

メンバーリスト貼り付け

会員名簿は会員相互の交流を深めるため是非必要です。

それだけに、その利用にさいしては、各自が充分の注意を払うのは当然のことです。そして、広告は経済知識の情報の一つとして大切なものです。ナイフが悪いのではなく、それを使う人の問題です。自分のことは自分で決める「自立」が会員相互の信頼を高め、維持して行く最善の道だと確信します。情報の開示の必要なことを痛感している今日この頃です。

NO157 村田 敬一郎

mkei@mvb.biglobe.ne.jp

ハワイ・オアフ島でロングステイする

東京都在住 会員No. 163 宮崎哲郎

今年7月24日より8月12日約3週間ハワイに行き、2度目の旅でしたので少し長めの滞在を楽しんで参りました。大勢の会員の方がすでに行かれており今更ハワイの観光案内などは皆さん耳たこです。今後ロングステイされる方の参考になればの趣旨でこれを纏めて見ました。私よりもっと経験豊富な先輩を差し置いてこれを書きましたが赤面物です。でもこれも一つの情報として少しでもお役に立てば幸いです。

1) ション(宿)ーホテルコンドミニアアコモデーム

今度の旅の宿は13年度第一回情報交換会において「リタイヤ夫婦のお気軽なロングステイ」なる演題で講演された野田敦央夫妻が賃貸契約されたコンドミニアムに居候させて頂きました。このコンドはヒルトンビレッジ、ワイキキヨットハーバーに近い「イリカイホテル」でした。ここはオーナーがホテルの部屋を買い取り賃貸してるシステムのコンドで、有名なアラモアナショッピングセンターに近く買い物、観光、遊泳全てに便利でハワイアンムード一杯の場所にあり、今まで17回もハワイにロングステイに来ている野田夫妻のチョイスはさすがです。ハワイはシーサイドと山側の部屋で値段の違いが大きいにも関わらず皆さん海側を選びますが、彼らは夜景の良い山側を選びました。現地にも長く住んでいる方に聞きますと「海は昼間は良いが夜は暗くて気味が悪い」のであえて山側を選ぶそうです。これも宿を選ぶ時の参考になると思います。



ヨットのむこうがコンドミニアム

この賃貸料はハイシーズンのため\$1,500/月で電気、水道代込みです。部屋の面積は約50平方M。当然ながら慣れている東南アジアに比べ高い！！でもここはな一んたってハワイです。このようなホテルコンドミニアムは他にイリカイマリーナ、ディカバリーベイ、ワイキキパニアン、ワイキキパークハイツ、アイランドコロニー等が有名。

2) ホテルコンドミニアム(賃貸)の探し方

今回野田夫妻は地元の不動産屋を通じこの物件を借りたが、1. 借りる前の対応は良いが一旦契約したらサービスが悪くなった。2. 多くの問題があったが連絡してもほとんど来ないし解決してくれないなどの問題が発生し困ったとの事です。夫妻は英語堪能ですが、言葉に不自由な場合はもっと問題解決に苦勞すると思われる。

そこで比較的スムーズで問題が少ないやり方を調べました。

基本的には日本人経営の不動産会社を選ぶ。これは日本語で要望を伝えられるので誤解が生じにくい。そこで現地で実際に調べた結果、信用の置けると思われる会員制(年会費必要)の会社「ロングステイ社」を見つけましたのでご紹介したいと思います。(面談調査)

同社をマネージしている大塚氏はロングステイ財団の依頼を受け、会社に財団のハワイサロンを開設されており、財団のメンバーがホノルルに来たときこのサロンを利用可能となっています。将来はロングステイ財団直営のハワイオフィスの可能性があるようです。

この会員になればロングステイのための色々な生活の為の援助をしてくれるシステムになっています。例えば、現地生活オリエンテーション、医者、弁護士の紹介、買い物の案内不動産のサービス、会員同士の

ゴルフ会開催（月2回）等です。会はロングステイソサイエティと称しています。

借りたい条件を申し入れればベストの物件を紹介予約してくれるとのこと。LONG STAY, INC. TEL (808) 942-8888, FAX (808) 942-8889, E-mail longstay@longstay.net でコンタクトできます。アフターケアもこの会社で確実にフォローしてくれるそうです。

3) 食事のこと

ハワイに長期滞在する場合ツアーと違って毎日外食すると云うわけにはいきません、キッチン付きのコンドでの自炊が基本スタイルのようです。ベテランの野田夫婦も3食とも自炊です。今回私もワイキキの木久蔵ラーメンを一回食べた（結構イケタ）のが唯一の外食でした。コンドにはキッチンがあり冷蔵庫、電気コンロ、レンジ、トースター、食器類、なべ等がほぼ揃っておりました。彼らは炊飯器だけは買ったそうです。（貸してくれる所もあるそうです）ただし包丁は日本から持って行ったほうが良いようです。是非お忘れの無いように、碌なものが有りません。そこで食材の入手ですが、やはり我々は日本食で頑張る世代ですのでこれに拘りますがご心配なく。質と費用を無視すれば日本食材は何でも有りの世界です。これは行く前に聞いていましたがこれ程とは思いませんでした。そうは言ってもこれだけは無いだろうと実は勇んで日本から大葉と茗荷を怖い税関さんの目を盗み持参したのですがなんと白木屋にあったのです（ゲー）。今度は谷中生姜で勝負です、さすがにこれは無いだろうと次回の楽しみにしております。毎日の買い物は日系のスーパーが充実しておりダイエー、白木屋が良さそうです。

ダイエーより規模は小さいが白木屋の方がやや高級で、より日本に近いものが手に入るようです、鎌倉の有名な和菓子屋まで有ります。ここのいくら丼、うな丼はなかなかいけるそうです。

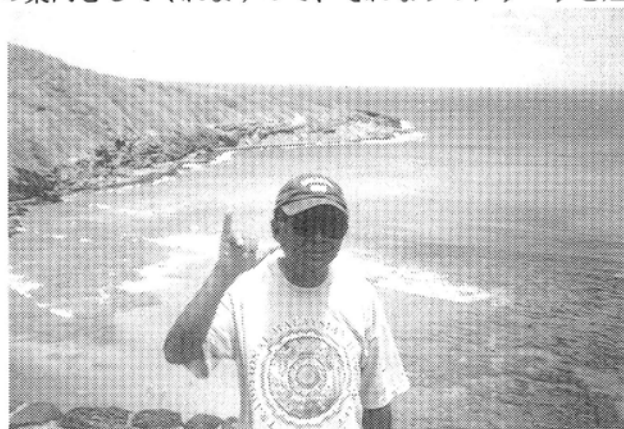
魚はスーパーでもありますが、拘るならチャイナタウンが絶対お奨めです。沖縄出身の日系人の魚屋さんが多く、日本語でOKです。鯛、鯆、マグロ、たこ大体揃いますが特に刺身は新鮮なマグロがあります（悲劇のえひめ丸はハワイ沖でマグロ漁の実習中だった）。概ね値段は日本並と思います。前述のロングステイソサイエティにお願いすればチャイナタウンの買い物の案内をしてくれますので、それなりのノウハウを短期間でゲットできます。

ここは時間によって治安が悪い事もあるし、バスで行くのですが乗り場が色々あり、あせっていららす事が有りますので、慣れる事が必要と思われます。

そうゆう訳で食に関しハワイの「グルメ」案内は今回出来ず残念でした。ただ口の肥えた日本人が満足できる料理をハワイで見つけるには相当お金が掛るのを覚悟しなければと現地在住の方は口を揃えておっしゃっていました。多分そうだろうと思います。

ハワイのロングステイでは東南アジアとは異なり、メインは自分の好みで作った料理を食し、時々洒落たホテルのレストランでオイシイ物を食べる幸せを得る生活がいいのかなと感じました。

ここで特筆すべきは1. ビールが安い事。キリンの大瓶、一番絞りが99セントで飲める。2. 肉が安くて美味い。アメリカンビーフ馬鹿にしてたけど結構いけます2人前のステーキで7ドル出せば十分。3. スイカが美味しい。ここのスイカ長くて（丸くない）変な形してるので不味いと思ってたが、甘いのにビックリでした。勿論安い。



ハナウマベイにて

4) ハワイを楽しむ

わが友野田夫妻は講演で毎日何をするかとの質問に「何もしない、気候に」と答えています。最初の内彼らのこのような滞在の仕方を聞いて退屈したりイライラしたりするのはと心配しましたが、リゾートに来て

それぞれの気候、風土、人間に接してこのスタイルで生活してみて納得、このごろやっと理解できるようになりました。

我が同胞はオアフ島について特にワイキキをイメージしながら自分の事は棚に上げて「どうも日本人がおおくてねー」なんて、言いながら結構楽しんでいるのを見ますが、私の感覚では観光地として豪華なホテル、手入れの行き届いた公園、道路、きれいな海、ゴルフ場、ショッピングモール、レストランなどが揃い、どこでも日本語が通じ、便利で治安が良くその上気候の良さ、リゾート特有の開放感などが加わり、これがホノルルを大変心地よい場所として訪れる人を魅了してるのだと思います。

他の場所にとって替われない魅力があるのです。その上ハワイアンリゾートを楽しむいろんな国の仲間が大勢いるからいいのです。もし立派なホテル、素晴らしい海辺があっても誰もいなくて自分ひとりだけ泳いでもぜんぜん面白くもありません。そうゆうところにはロングステイしても多分退屈すると思います。むしろある程度オアフ島のような都会で沢山の観光客が居て、温暖な気候の所の方が年配のロングステイヤーにはベターであって、若くて働き盛りのツアー客こそ静かなリゾートに行くべきだと思います。

(1) 風を楽しむ

一言でハワイの何が良いのかと言うと、太平洋上のこの楽園に常に吹いている偏西風がもたらす「風」だと思います。碧い海を見ながら木陰で涼しく乾いた風を身体全体に受けた時「ああー、気持ちがいいなあー」とつい口走ってしまう感覚。これですね、恐らくリピーターはこれに誘われて何度も来るのでしょう。特に私が滞在していた時東京はあの猛烈な暑さの最中で内心「ラッキー、東京の皆さんお気の毒様」と云う優越感がさらに一層心地よさを倍加させたようです。自分でも「性格ワリナイ」と思いながら、でも人間ってそんなもんだよと一人納得しておりました。

(2) 公園で風と遊び夕焼けを楽しむ

ハワイには整備された緑豊かな素晴らしい公園がたくさんあり羨ましい限りですが、その中でも毎日好んで散歩した公園はアラモアナビーチパークに隣接して海に突き出た半島の公園—マジックアイランドです。ここからは遠くダイヤモンドヘッド、ワイキキ海岸、沖を行き来するヨット、青い空、エメラルド色の海、サーファーの群れ、まさに絵葉書の風景です。これだけ舞台の揃った景色はなかなか他所では見られません。



美しい夕焼け

この公園の大きな木の下で涼しい風に吹かれこの景色に見とれていると何時までもいられる自分が不思議でした。夕方はここから見る日没、夕焼けが良くて7時頃まで飽きずに居たものです。

(3) バスを楽しむ

ロングステイヤーは車を持つほどの期間いませんで買い物などの移動にはタクシー、レンタカー、バスが有りますが、経済を考えるとやはりここではバスがベストです。島を網羅する市バス通称 **The Bus** です。ハワイに来て感心したのですが、日本と違って路上駐車がほとんどない為常時全車線が使えるので車の流れが非常にスムーズな事です。従って利用者はバスの運行に信頼を置いて盛んに利用しているようです。このバスはたくさんのルートがありますが、自分に必要なルートはそんなに多くなくすぐ憶えられます。一ヶ月乗り放題のパス27ドルを買うのが便利(65歳以上のシニアは2年間使用可)です。滞在中大変便利なので重宝しました。これで4-5時間掛る島内一周バス旅行も可能です。日本にもこういうのが有ればいいですね。このバスではシニアが大事にされ、若い人が席を譲るのは大体マナーになっているようです。

(大体と言うのは100%ではないと言う事です) それにしても我が日本の茶髪のお姉さん、餓鬼連れの若いお母さん方はここでもシニア席に堂々とお坐りになり年寄がいてもジコチュー、権利意識丸出しで絶対に譲ろうとしません。何度も怒鳴りたくなりました。何はともあれ便利な交通手段ですから、コンドミニアムを借りるのもバスの便利な場所を選択するのが肝要の様です。

(4) 日本の新聞を無料で読みパソコンを楽しむ

何処の国に行っても日本の新聞は日本のおよそ3倍位の値段です、今まで私が経験した最高額は1部600円(ケニア)でした、でもやはり永く現地にいると読みたくなりますが、つい高いのでけちします。ハワイで見つけた方法はワイキキにある JCB や UC, DINERS のサービスオフィスに行くことです。ここには朝日、日経、読売、その他スポーツ紙2-3種類週刊誌が自由に読めるようになっています。しかもお茶、コーヒー、ジュース類無料サービス至れり尽せりです。これを利用しない手はありません。

さらに JCB プラザにはインターネットカフェがありますのでここでメールが出来ます。私はここに通うのが日課となっていました。使用料は30分3ドルカード払いです。なお自分のパスワードとアドレスが無いと開けませんのでこれを忘れずに。ここで新聞読みがてらロングステイヤーの方が来られ、お互いの情報交換をされているのをほとんど毎日見かけました。

5) ロングステイする時の滞在日数について

快適なハワイも観光としてビザ無しで滞在するには一回が90日以内となっており、一旦出発国に戻る事が義務づけられており、滞在日数は年に合計180日を越えない事となっております。単純に言えば最長六ヶ月間滞在できる訳ですが、意外とハワイのイミグレは厳しくて、ぎりぎり90日で出国してすぐに戻ると先ず再入国できないか手数料が掛り嫌な思いをするそうですので要注意との事。自分で購入した家がハワイにあってもそれは関係ないと相手にしてくれないそうです。もしこのぐらいの滞在をお考えなら85日ぐらいで出国し1-2ヶ月後に再入国を2度繰り返すのが良いと言われてます。

リタイアした人には寛容ですがツアーでなく若い人が一人で長期滞在での入国をしようとすると、別室で色々聞かれ最悪強制送還もあるようです(今回実際に本人から聞いた話です)

若い人が仕事もしないで長期に滞在するのはおかしい、犯罪に関係(主に麻薬)有るのではと疑われるようです。

6) 病気になった時

病気の場合は前述のロングステイソサイエティにお願いすれば、相談医の小林医師(聖ルカ総合内科クリニックの内科医)が特別に診察してくれるそうです。私もお会いしましたがとても人柄の良い先生で皆さんに信頼されているようです。

ただ米国は医療費が高額なので十分な海外傷害保険の加入を先生からも勧められました。当たり前のことですが付記いたします。因みに診察料は100ドル、入院ベット代1日400ドルぐらいです。少し重い病気で入院したときは1,000万円ぐらいすぐに掛る恐ろしい所です。お互い注意しましょう。

以上不十分ですが少しでもお役に立てばと思います。

2001.8にマニラとダバオに行き、断片的ながら賃貸借契約書事情について聞いたことをまとめてみました。

- 1、マニラでもダバオでも庶民の間では賃貸借契約書は作らないのが普通。
- 2、たとえ作ってもごく簡単なもので、何かトラブルがあっても殆ど役に立たない代物という。従って相手にそのような感覚がないので自分の側に都合の良い文言にして相手に署名してもらう事も可能の由（マニラ）。
- 3、ちゃんとした契約書があるのは大手企業の扱う物件に限られるのでは（マニラ）。
- 4、フィリピンでも借家人の権利が強い。家賃を何ヶ月も未払いのまま放置していても「出て行ってくれ」とはなかなか言えない。借家人側に金もないし行き場所もない（マニラ）。
- 5、訴訟すれば追い出せるように思えるが、家主側も家賃収人を税務署に申告していないのでヤブヘビになるという面もある。
- 6、但し現地では日本人は大金持ちと考えられているから「金もないし行き場所もない」はあてはまらない。契約書により賃貸条件を確認しておくのが筋であろう。
- 7、以上は一般論であって、ちゃんとした当事者間では賃貸借契約書を作成し、かつ公正証書にしてある。ご紹介するのは共にダバオに居住しているフィリピン人個人間の一戸建ての居宅の賃貸借契約書で公正証書の文言。

賃貸借契約書

前文 賃貸人（A）は〇〇〇に所在する土地と建物の所有者で、賃借人（B）はAの所有する土地建物を賃借したい意向である。そこで両当事者はお互いの利益のために本賃貸借契約書を締結することに同意する。以下のとおり・・・日本にはかかる明示文言はない。

第一条 Aは当該土地建物を賃貸し、Bがこれを利用する権限を与える。

第二条 賃貸期間は12ヶ月とし、Aの意向に従い更改できる。・・・日本と立場が逆。

第三条 家賃月額2,800ペソ（@¥2.5=¥7,000）。Bは一ヶ月分相当額の保証金と、一ヶ月分相当額の家賃前払い、つまり5,600ペソを支払うことに同意する。別途1,000ペソを電気、水道料金として支払う。Bが正当な理由なく居宅を退去した場合は、それが契約期間内であっても保証金は自動的にAのものとなる。

第四条 家賃等は当月の5日までに支払う。・・・日本では前月末まで。

第五条 支払日が遅れた場合月額家賃の2%を延滞料として支払う。・・・日本にはかかる規定なし。

第六条 居住目的以外の使用不可。不道德目的或いは違法な用途のための使用禁止。隣家の平和と静寂を不当に乱してはならない。

第七条 又貸し禁止。・・・日本と同じ。

第八条 当該不動産が現在良好な状態に保たれていることを確認し、Bは以後も同様良好な状況に保つことを約束する。

第九条 修理：不可抗力による場合を除き、その大小を問わず、全ての修理はBがその費用負担に於いて行う。

Bやその代理人、使用人並びに当該土地建物に近づくことを許した第三者の過失による土地建物およびそこに居た人に対する損害や損傷について、Bはその費用負担に於いて修理・看護等を行う。

・・・前段はなかなか大変な条項であるがダバオでは地震はめったにないし、台風は全然来ない。また境界には太い鉄棒によるフェンスが設置してあるので、この文言でよいのであろう。ただ土地建物を自分で所有していれば当然の行為。後段について日本では契約書自体に明文規定はないが、民法などにより結論は同じ。

第十条 土地建物に変更を加えるときは、Aの文書による承諾を要す。

第十一条 当該土地建物で利用する電気・ガス公益費等に関わる費用はBが負担する。

第十二条 爆薬や火災を起こす恐れのある原材料の持ち込み禁止。

第十三条 BはAが求める諸規則を遵守すること。

第十四条 賃貸借契約終了に伴い、Bは次の賃借人がそのまま居住できる様に整備してAに土地建物を引き渡すこと。永続的に利用するもの以外の家具動産の類は全て除去したうえで住人も退去する。

この後に公証人の認証文言と署名欄がある。

注) いまひとつの契約書もダバオに居住するフィリピン人間の賃貸借契約書であるが、保証金が一ヶ月分相当額となっている(前払い家賃は一ヶ月分相当)。内容的にはご紹介した契約書より簡単であるが、やはり公正証書となっている。

以上

メーリングリスト貼り付け

下元 様

ご無沙汰しております。セブのスズキです。

医療のカード支払の適用条件のことで、私は使ったことが無いので貴重な実体験をお知らせいただいております。

実は私は、以前やはりカードの世話になることもあるだろうと、各カード会社の対応を調べたのですが、そのときの結果ではやはり航空券を当該カードで買った場合に適用されるというのが大方でした。

そんな中で、「DCカードNEWS」、「セゾンカードUA」、「ニコスカード/T・ZONE」は、約款でも航空券には触れていなくて、疑問が解消されないのでもさらに電話で問い合わせをしたところ、それに関わらずパスポートで確認して3ヶ月/90日以内の帰国であれば支払い対象とするということでした。

(保険の内容も私のタイプに合致していて、病気、けがに対する比率を死亡よりも重視している点も利点でした。)それで現在は上記3件のうちのセゾンとニコスを持っています。

貴兄の調査では、航空券をカードで買うことについて、最近適用条件の変更があったということですが、私も今不安になってきています。

それと、後段でおっしゃっていることについて質問させてください。

適用条件として、1) 航空券をカードで買う。2) リムジンバス、成田エクスプレスをカードで支払う。という二つは両方満足させなければならないということですか、あるいは、航空券をカードで買わないでも、2)の行為をしていれば適用されるということでしょうか。

私は前記の調査を信じて航空券もリムジンもカードで買ってはいないので心配です。もちろん、カード会社やスポンサーによって違いはありますから、私のカードにそのまま適用できるものではありませんが、傾向としてお教えいただけましたら参考にしたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。

-- セブ/スズキ

プラスチック・マネーの海外利用術

春日部市在住 会員 No.315 鈴木 剛

銀行の預金カード

みなさんが普段お持ちの銀行カードは、自分の取引銀行以外でも日本にいるのと同じように海外で現地通貨での預金引き出しができます。それは世界中の銀行がネットワークで結ばれているからです。

わたしは昨年オーストラリアでも今年のタイでも、現地の CD 機で預金を引き出してみました。CD 機は英語で表示されますが、操作は日本と同じなので簡単でした。

英語に戸惑わないようにするには、日本国内で CD 機を使うときに英語バージョンで操作すれば格好の練習になります。

海外で CD 機を使うメリットは、クレジットカード同様に両替の手間がないことと交換レートが当日のレートなので両替よりもかなりレートが良いと言うことです。しかも大金を持って歩く必要はなく、必要な都度 CD 機から引き出して使えば良いのですから安心です。

また引き出した実績は日本に帰ってきて預金通帳に記帳すれば、引き出した現地通貨額・交換レート・日本円貨額が記帳され記録が残ります。

問題は滞在している場所に、引き出しのできる CD 機があるかどうかですが、多くの銀行は国際的ネットワークと提携しているので大きな都市では問題なく使えます。

私の利用しているシティバンク銀行カードは、世界 100 カ国以上、430000 万台の CD 機から現地通貨で預金の引き出しができ 365 日 24 時間利用可能で、1 日 50 万円まで引き出しができると案内しています。ただ念の為出発前に銀行に照会して使える CD 機がどの程度整備されているか事前に確認しておく事がベターでしょう。

操作方法は簡単で、

- ① カードを CD 機に入れる。
 - ② 4桁の暗証番号を押し、確認ボタン(ENTER)を押す。
(ENTER のボタンもしくは YES , OK , CORRECT のいずれかのボタンを押す)
 - ③ 引き出しのボタンを押す。(WITHDRAWAL もしくは GET CASH のボタンを押す)
 - ④ 口座種類の選択 (SAVINGS ACCOUNT もしくは CURRENT ACCOUNT, CHECKING ACCOUNT) のボタンを押す。
 - ⑤ 金額を入力し、確認(ENTER)ボタンを押す。
- の以上です。

クレジットカード

会員のみなさんが便利に使っているクレジットカードは 1950 年ニューヨークで生まれました。いまから半世紀前のことです。

いまや海外旅行には、欠かす事の出来ない必需品になりました。サイン一つで全世界どこでも現金同様に使えるわけですから、それは便利です。

その他のメリットについて経験から申しあげますと、ひとつは海外旅行障害保険です。現在年会費有料のクレジットカードには、海外旅行障害保険がほとんど付いています。会員のみなさんのように頻繁に海外旅行される方には大きなメリットです。

例えば私のクレジットカード(ダイナースクラブ)には傷害死亡の場合 1 億円付保され、障害治療費用 200 万円、賠償責任保険 1 億円、携行品の損害は 50 万円などの補償が受けられます。しかも保証期間は日本を出発してから 3 ヶ月間もあります。

同じ条件でその都度保険会社の海外傷害保険に加入すると 1 回当たり 15000 円くらいかかり、保証期間も 8 日間ですから、この保証期間を 3 ヶ月にしたらかなりの金額になります。

ダイナースクラブの年会費は 15000 円ですから、年会費は海外傷害保険料と思えば安いものだと思います。しかもいろいろな情報が掲載された機関誌が毎月送られ、利用金額に応じてポイントがつきます。

また便利だと思うのは、国内・海外に会員専用のエアポートラウンジがあることです。私はよく出発前の時間を成田のラウンジで過ごします。利用料は同伴者 2 名まで無料です。アルコールを除き飲み物は無料で、出発までの時間を静かにゆっくり過ごせます。

また海外でカードを使って買い物をすると面倒な両替も必要ありませんし、交換レートも当日のレートを適用するので現地の両替商で両替するより当然有利になります。

昨年わたしがオーストラリアに行った時の経験ですが、現地の両替商で交換すると 1 オーストラリアドル 60.14 円でしたが、クレジットカードのレートは 58.51 円でした。

また今年タイに行ったときには、現地の両替商のレートは 1 バーツ 3.334 円でしたが、クレジットカードの請求レートは 2.830 円でした。

換算レートの方式はカード会社によって違いますが、私の経験では VISA カードのレートは良かったように思いました。

またクレジットカードの良いところは、カードで買った商品が破損したり、盗まれた場合年間 500 万円まで補償されます。帰国後にお土産の商品に瑕疵があった場合は、カード会社が現地の支店を通じてお店と交渉してくれることもあります。

なお紛失したり、盗難にあったときのために、自分のカード番号を控えておく事とカード会社や銀行の連絡先電話番号は手帳などに控えておきましょう。そしてクレジットカードを紛失した時はすぐにカード会社に連絡すればすぐ再発行の手配をしてくれます。

また悪用された被害額は殆どの場合、カード会員に請求されることはないので安心です。カード会社が負担してくれます。

以上クレジットカードや銀行カードの宣伝のようになりましたが、私はカード会社の社員でも銀行員でもありませんので詳しくはそれぞれの会社に確認してください。

メーリングリスト貼り付け

1. UC (三井・住友) カードについて (ユーシーカードビジネス [株] 保険グループ、tel:03-5531-5420 にて調査)

* 海外旅行傷害保険については従来通り自宅を出て正規のルートで空港に向かった場合は補償の対象になる。(途中で寄り道をした場合は対象外となる。) 帰国は自宅に到着するまで OK。但し上記()内の事項は同じ。尚カードは使用しなくても良い(自動加入になっている)

* 国内旅行の場合(要カード利用)である。

* この7月15日からゴールドカード会員は国内旅行でも自動加入(カード利用は関係なし)に改定され有利になった。詳細は被保険者証を熟読か上記の電話に問い合わせると良い。

2. ニコスカードについて

* 海外旅行傷害保険は日本の空港出発から、帰国の日本の空港までである。

* 国内の旅行保険は「なし」になった。

3. 日本国内の補償までカード保険を利用したい場合は UC カード会員に登録した方が良い。

以上が小生の調査した事項です。

酒匂 景輝 拝

アメリカ抽選永住権(DVプログラム)の話

《 グリーンカードを取ってハワイに永住しませんか 》

横浜市在住 会員 No. 148 足立 洋太郎

南国暮らしといえば、すぐに頭の中に浮かぶのが、青い空と海と椰子の葉陰のブルーハワイ。

第一線を退いたら、ゆっくり、のんびり、気ままに、ハワイで暮らしてみたいというのが、大方のサラリーマンの夢ではないでしょうか。

しかし、現実には、ビザの問題が大きく立ちはだかり、仕方なく観光ビザの滞在期間(3ヶ月)を使って、日本との往復を繰り返すしか方法がないと思っている人が殆んどだと思います。つい最近まで、私もそうでした。

でも、諦めることはありません。究極のハワイ暮らしの方法を皆さんにご伝授しましょう。もう、ご存知の方もいらっしゃるかもしれませんが、その方法とは、DVプログラムによる抽選永住権(グリーンカード)を取得することです。今年、私の息子がこの抽選に応募し、本当に当選してしまったので、夢ではない現実味のある話として皆さんに提供できると思います。

1. DVプログラムとは？

「移民の数を各国別に調整して、国内における移民を人種別に平均化しよう」という方針に基づき、1990年に立法化された新移民法により、アメリカ政府は、移民の割合が少ないとみなされた国の国民を対象に、毎年、数万人の永住権を抽選(くじ引き)により割り当てています。

これを Diversity Immigrant Visa Program (国別移民均等化プログラム)、通称「DVプログラム」といいます。当選者の確定時の年度に応じて「DV-2001」とか「DV-2002」という呼称で呼ばれています。今年の募集は「DV-2003」です。

過去5年間の応募者数と当選者数のデータは次のようになっています。

	(DV-1998)	(DV-1999)	(DV-2000)	(DV-2001)	(DV-2002)
応募者総数	600万通	600万通	1050万通	1300万通	1300万通
うち有効数	470万通	360万通	800万通	1100万通	1000万通
うち無効数	130万通	240万通	250万通	200万通	300万通
当選者総数	10万人	9万人	10万人	9万人	9万人
アジアの当選者数	13126人	11819人	15900人	14773人	13076人
日本の当選者数	440人	448人	367人	408人	637人

2. 応募資格

- (1) 18歳以上で、高校卒業以上(又は同等程度)の学歴があるか、最近5年以内に最低2年以上のトレーニングを必要とする職業に2年以上従事していること。
- (2) 米国国務省が指定した対象国の出生者(*ネイティブ)で、犯罪歴がなく、結核・エイズ・梅毒・精神病患者等でないこと。

§ ネイティブ………本人、配偶者、両親のうち、誰かが**日本生まれ**であること。(国籍ではありません)つまり、出生地が日本であれば、中国・台湾・韓国・北朝鮮・フィリピンの国籍の方も有資格者です。

§ つまり、殆んどの日本人に応募資格があるわけです。申請者の当選が認められれば、その配偶者、21歳未満の未婚の子女にも当選が認められます。(ただし、子女だけが当選した場合、その両親は自動的に当選にはなりません)

§ 応募は一人一通です。二通以上送ると資格が剥奪されます。(過年度分は含まず)

3. メリット

永住権＝グリーンカードを取得すると、参政権が無いだけで、あとはアメリカ人とほとんど同じ恩恵を受ける権利が与えられます。このグリーンカードの特徴は以下の通りです。

- (1) 日本国籍のまま、アメリカの好きな場所に、好きなだけ、住むことが出来る。(出入国の際に制限がなく、ビザも一切必要ありません)
- (2) アメリカへ1年に1回入国すれば良いわけで、無理に1年中アメリカに滞在する必要はありません。
- (3) ビジネスの立ち上げや就職、就学、アルバイトが、いつでも自由に出来ます。
- (4) アメリカでの社会保障、各種公共サービスをアメリカ国民と同様に受ける権利があります。
- (5) グリーンカードを取得した後、5年経過した時点で、本人が希望すればアメリカ市民権を取得することが出来ます。(市民権を取得すれば、参政権も付与されます)

4. 当選のポイント

- (1) 抽選(くじ引き)は公平、かつ、無作為にコンピューターで行われるため、当選のための特別なテクニックはありません。
- (2) 正確な応募書類を作成し、確実に応募期間内(10/1~10/31)に届くよう郵送すること。
- (3) 当選効率を上げるため、結婚している方はご夫婦それぞれ別々に応募すること。

毎年、世界中で1,000万人以上の方が応募するのに、国務省で定める形式、送付方法、期日に合致しないため、抽選前に失格してしまう人が3分の1ちかくもあります。次ページに載せた『**米国抽選永住権「DV-2003」応募要領**』をよく読み、厳密に守って応募すれば、まず失格することはないと思います。

5. 当選後の手続き

- (1) **当選通知**…DV-2003の当選者が決まると、だいたい2002年4月から7月の間に、アメリカ国務省から当選者の自宅宛てに、当選通知とビザセンターに返送する必要書類が送られてきます。(落選の人には通知は来ません)
- (2) **ビザセンターに返送**…必要書類に必要事項を漏れなく、正確に記入し、出来るだけ早く返送する。米国政府は、実際には当選後の辞退者がある程度想定して、余分に当選者を出しており、当選枠に達し次第打ち切りますので、「当選後の行動は素早く」がキーワードです。
- (3) **提出書類を揃える**…戸籍謄本、警察証明書、健康診断書、*銀行預金残高証明書、高校卒業証明書…etcは、窓口で「英語版」を請求して次項の面設日までに揃えておきます。
* 銀行預金残高証明書の最低預金残高は、今年度の場合、概ね、1人の場合 \$16,700, 2人の場合 \$21,037, 3人の場合 \$25,375 です。(年度によって変わります)
- (4) **面接**…アメリカ国務省から通知された面接日時に、前項の書類を持参して、東京アメリカ大使館で面接を受けます。面接といっても、提出書類を渡し、不備がないかチェックするだけで、殆んど5分程度で終わってしまいます。**英語が話せなくても全く心配いりません。**書類不備の場合は、修正してから再度、面接になります。
- (5) **渡米**…書類を提出し、審査を終了した者は6ヶ月以内に入国し、イミグレーションで「仮グリーンカード」を受け取る必要があります。これは、入国時に係官がパスポートにスタンプを押してくれる一時的なグリーンカードです。

本物のグリーンカードは、米国に入国後3~5ヶ月後にあなたが指定した米国内の住所に送られて来ます。

次ページに、DV-2003の応募用紙や封筒の書き方について「**応募要領**」としてまとめてみました。

米国抽選永住権「DV-2003」応募要領

1. 応募用紙は指定されていないので、自分で用意した紙 (A4) に応募用紙記入例を参考に英文で、手書きかワープロで作成して下さい。(この応募要領に記載してある事項を隅々まで厳密に守って下さい)
2. 10月31日正午までに必着するよう、下記仕様の封筒で郵送する。(左上の差出人の住所、氏名は自分のものに変えること)

【 応募用紙記入例 】

DV-2003 Program		
1. FULL NAME :	<u>Minami , Taro</u>	
2. DATE OF BIRTH :	<u>30 May, 1942</u>	
PLACE OF BIRTH :	<u>Yokohama , Kanagawa , Japan</u>	
3. APPLICANT'S NATIVE COUNTRY IF DIFFERENT FROM COUNTRY OF BIRTH :	<u>Not applicable</u>	
4. NAME , DATE AND PLACE OF BIRTH OF THE APPLICANT'S SPOUSE AND CHILDREN :		
	<u>Minami , Hanako 11 June , 1950 Hirakata , Osaka , Japan</u>	
	<u>Minami , Jiro 05 April , 1980 Kita-ku , Tokyo , Japan</u>	
5. MAILING ADDRESS AND TELEPHONE NUMBER :		
	<u>2-51, Maruyama-cho , Konan-ku , Yokohama , Kanagawa , 234-0056 Japan</u>	
	<u>TEL: 045-842-3041</u>	
6. SIGNATURE OF THE APPLICANT :	<u>南太郎</u>	
写真 (本人)	写真 (妻)	写真 (子)

- (1) 応募者の氏名=名字、名前の順。
名字の下に下線を引く。
- (2) 応募者の生年月日と出生地=生年月日は、日、月、年の順。出生地は、市又は郡、都道府県、国の順に書く。
- (3) 左は応募者が日本で生まれ、日本国籍を有する者の記入例。有資格者で日本以外の国で生まれた者はその国名を記入。
- (4) 併記する配偶者および 21 歳未満の未婚の子供の氏名、生年月日、出生地の順に書く。
- (5) 応募者の住所=当選通知の連絡先。丁目番地、町村、市又は郡、都道府県、郵便番号、国の順に記入する。
電話番号も記入する。
- (6) 署名=パスポートの署名と同じ署名をする。パスポートの署名が英文字の場合、その署名の下に漢字の署名も行う。
- (7) 写真=申請者本人だけでなく、併記する配偶者、21歳未満の子供の写真も必要。(家族の集合写真は失格)
写真の裏は白であること。写真の裏にそれぞれの氏名と生年月日を英文字で記入すること。
カラー又は白黒の正面顔写真で背景は明るい無地であること。
写真のサイズは 5cm x5cm(厳守)。
写真の上部を透明セロテープで貼付する。(ホッチキスやクリップは失格)

【 封筒の仕様 】

JAPAN	切手
<u>Minami , Taro</u>	120円
2-51, Maruyama-cho, Konan-ku, Yokohama, Kanagawa, 234-0056 Japan	
DV- 2003 Program Kentucky Consular Center 2002 Visa Crest Migrate , KY 41902-2000, U.S.A.	

- (1) 封筒のサイズ=厳守
ヨコ 15 cm ~ 25 cm
タテ 9 cm ~ 11 cm
- (2) 左の一番上に Japan と記入
- (3) 左上の差出人の氏名、住所は自分のものに変えて下さい
- (4) 宛先は左のままでもOKです。
- (5) 郵送は、郵便か国際普通郵便 (エアメール)に限ります。
書留、国際宅急便、FAX は失格。

南の会・伝言・掲示板

1. 自宅を開放

会員 No. 367 Ms KYOKO TY . (旧姓：諸橋 京子)

- ・結婚して約20年マニラに居住されている。
- ・自宅にホームステイを受け入れるとの事。但し本人がマニラ滞在で会員の方と対応できる時に限る。

名簿の電話/FAX またはEメールにて、アドレス：kty46@hotmail.com

自宅はマニラ空港から夜だと10分位の所にある。

- ・マニラ市内の美味しいレストラン探訪を行い評価している。仲間10数名で点数をつけて評価し総合点を出している。(その内記事を提供してもらう)
- ・この件は13年9月22日に京子さんを囲む会(8名参加)での話題から。

2. 年金のいい話

会員 No. 227 齋木 一 氏

厚生年金を受給するにあたり社会保険事務所に相談に伺った。

私は外国人の女性と結婚して子供も誕生した。(勿論入籍している。) この場合の取り扱いについて相談した。

60歳の誕生日の時点で入籍しておれば、扶養されると認められ、親子2人分の加給金が年間約50万円程度有るとのホットな情報をもたらした。この場合遺族年金の対象にもなるとのことで、安堵した。(13.9.12 齋木夫妻と面談)

私と同じ様な境遇の方は社会保険事務所に相談に行ってください。親切に指導してくれます。

次回10月上旬に帰国予定

3. チョットいい話 (コンペー糖物語)

我々人間は年を重ねるにつれて、人物が丸くならず角張ってくる。これは色々な知識や艱難辛苦を乗り越えて培った賜物で、長所でもあり、また短所でもある。

コンペー糖は砂糖を数10時間過熱しながら練って、出来上がりが丸い玉ではなく突起の多い粒になってしまう。しかしあの何とも云えない上品な味は、それなりの熱と時間と人の手を掛けて始めて出る味である。人間も同じでその長所を生かし、短所、嫌なところは丸めてゆく事である。

この角張ったところを我々はよく年を取ったから削り取って丸い人物になろうと心掛ける。それでは折角今まで培った長所まで削り取り、人物が小さな丸(玉)になってしまう。

その様な事は考えず、解決するには多くの人々と会い、(今までの狭い社会[勤務先や隣近所]等)これからの年代は広い社会が、自分で出て行けば幾らでもある。丸くしようと言う前向きな気持ちがあるならば、出来るだけ多くの人と会い、正師を探し、交わり、突起物の谷間を埋めて行く事が、人物を丸くする方法が最高である。

春日部市倫理研究会での講師：荒井節子氏(脳力能力開発総合研究所)の感銘を受けた講演の一部を披露しました。

酒匂景輝

支部・部会伝達板

★ 関西支部より

支部長：大橋 績

関西支部懇親会のご案内

下記により懇親会を行いますので、皆さん奮ってご参加下さい。

1. 開催日：10月28日(日)午後1時より
2. 場所：パナヒルズ大阪
3. 参加費：1,000円/お一人
4. 内容：①体験談 ②その他
5. 申込み締切日：10月20日
6. 申込み方法：I-ohashi@tcn.zag.ne.jp にEメールするか、支部長まで郵便でお申し込み下さい

★ 調査・企画担当より

担当理事(旧)：三井田 雅俊

タイ王国、医療・介護サービスを尋ねてのツアー中止のお知らせ

過日のテロ、ハイジャック自爆事件により、団体で移動する企画は当分の間自粛しようと言うことに致しました。世情が安定しましたら再度検討することに致します。

今回は中止と言う事でご了承ください。またお会い出来る日を楽しみに。

★ 事務局総務担当から

担当理事：宮崎/菊地

1. 今年度になって7/5, 8/18と2回理事会を開催しました。次回は9/29の予定です。
2. Eメール井戸端会議で会報への不動産広告掲載の是非がいろいろ論議されましたので当事務局も見解を投稿しました。会報に掲載するに至った経緯、掲載業者の事前審議方法など、ありのままを判りやすく説明した積りですがいかがでしたか。
3. Eメールでの情報交換が活発になっています。以下に今年度に東京地区で行われたミニ情報交換会を表に纏めました。これからもこの勢いを維持しましょう。場所探しなどの参考にして下さい。

ミニ情報懇談会実績(Eメール[nangoku]で呼びかけたもの-9)を除く)

番号	日付	場所	情報提供者	参加者	世話役(会員No)
1)	3/31	新宿、京王プラザホテル45Fオーロララウンジ	マレーシア・クアラルンプール在住：末英樹(302)	約十名	菊地範夫(240)
2)	4/21	新宿、マイシティ8F中華レストラン好蘭	フィリピン・マニラにLS：加藤泰三(98)	十名	宮崎哲郎(163)
3)	5/11	松戸、甘太郎	フィリピン・ダバオ在住(日本人会副会長)：金坂さん	約二十名	高沢弘晃(101)
4)	6/7	新宿、マイシティ8F中華レストラン好蘭	フィリピン・マニラ在住：山本さん	八名	宮崎哲郎(163)
5)	7/14	新宿、マイシティ8F中華レストラン好蘭	フィリピン・ダバオ在住：平野さん	十名	藤田武男(229)
6)	8/9	八千代台駅前イタリアレストラン	フィリピン・ローズプリンセスに居住：前沢さんご夫妻	六名	酒匂景輝(24)
7)	9/9	上野、レストラン・グリーンパーク2F中華料理旦妃楼飯店	フィリピン・マニラにLS：加藤泰三(98)	七名	宮崎哲郎(163)
8)	9/22	八重洲地下街、カフェレストラン平野屋東京本店	フィリピン・マニラ在住Kyoko Ty(367)	八名	小川護雄(280)
9)	9/24	新宿、マイシティ8F中華レストラン好蘭	オーストラリア・パース在住：湯口さん	十名	高沢弘晃(101)

4. サロン「南の会」いよいよ11月10日(土)スタート!!!

当会は単に情報交換だけでなく、会員の親睦と、同じ目的思考を持った者同志のネットワーク作りをコンセプトとしております。したがって総会や情報交換会だけでなく、会員が定期的に集まり、懇談や情報交換しながら、現役時代とは違った友人、知人をつくるのも楽しいものです。そんな気楽な、憩いの場所としてサロンを設置することにしました。

地方会員の方々も上京の折り、立ち寄られることが出来れば素晴らしいことだと思います。

このサロンは次の要領でテスト的に計画実施しますので、是非とも皆様のご参加、ご協力をお願いします。

- (1) サロンの設置場所: 新高輪プリンスホテル(品川)JALグローバルクラブ・ラウンジ
- (2) 設置時間: 毎月第2土曜日の午後1時~5時までオープンしています。
- (3) 管理責任者: 事務局 宮崎 哲郎
- (4) 費用: 無料

このサロンのオープン当初は出来るだけスムーズに運営できるよう、来られる方は前日までに管理責任者にご連絡頂ければ好都合です。

TEL:03-3472-9954 又は 携帯:090-2907-8340 まで。(当日は携帯の方をお願いします)
終了後は一杯いかがですか? では、皆さん、気軽にお出で下さい。

★ 事務局総務担当より

担当理事: 宮崎 哲郎

関東地区第4回情報交換会の案内

日時 : 平成14年1月19日(土)

場所(予定): 東京都大崎労政事務所南部労政会館 東京都品川区大崎1-11-1
ゲートシティ大崎ウエストタワー2階 (JR大崎駅徒歩5分)

講師 : 現在、交渉中につきご期待下さい。

関東支部新年賀詞交換会開催のお知らせ

本年の会報「夏季号」巻頭挨拶にて、理事長よりご挨拶申し上げましたように「関東支部」が新たに発足いたしました。支部メンバーは全会員中約6割というメジャーな部分を占める大所帯です。

総会、関東地区情報交換会にてある程度面識も出来てきましたが、まだまだ一部の限られた方々の感があります。お互い近場に居られる会員同志がもっと知り合い、その輪を広げてはと思い、来年1月19日に予定されている第4回情報交換会終了後、「賀詞交換会」を開催致したいと考えております。

新年と支部のスタートを新たなる気持ちで迎えるために、出来るだけ多くの方々のご参加をいただき懇談を図りたいと思いますのでよろしくお願いします。(詳細については、別途ご案内致します)

支部長募集のお知らせ

このたび、関東支部が発足しました。これを機会に北海道、東北など各地に支部がどんどんできたら……と願っています。世はあげて地方の時代です。支部発足に向け、中心となってお手伝い頂ける方を募集しております。ぜひ、積極的にお申し出下さい。(窓口: 宮崎 哲郎 Tel. 03-3472-9954)

★ 会員担当より

担当理事: 酒匂 景輝

1、平成13年度(9月30日現在)正会員数: 325名

内訳・・・継続会員: 234名+新規入会者: 91名

2、追加会員及び住所変更・訂正名簿配布の件

夏季会報と同時に配布しました会員名簿に綴じてご利用ください。

規定集編集委員会より

委員会責任者：酒匂 景輝

平成13年会報夏季号に掲載の如く会員必携として「南の会必携」と命名しました。完璧ではありませんが、秋季会報と同時に送付する事が出来ました。これも委員の方々や会員有志（投稿者名は本文に記載）のご協力のお陰です。

この必携を皆様が手引き書として利用して頂ければ、編集者一同この上ない幸せです。会員名簿をこの必携に綴じ込んで利用して頂けると尚いっそうの価値があると思います。

今後もこの必携の掲載に値する資料を皆様のお手元に送付します。保存版としてご愛用の程お願い致します。皆様方からもこれは必携に採用して欲しい資料がありましたらお知らせください。

委員メンバー：池田徳三郎氏、足立洋太郎氏、菊地功氏、小川護雄氏、酒匂景輝

★ 広報担当より

担当理事：高沢 弘晃

パソコン教室へのお誘い

夏季号でお知らせした通り、パソコンを面白く使えるようになりたいという多くの方々のご要望により、インターネット委員会では、11月25日よりパソコン教室を定期的を開催することに致しました。申し込み等の詳細は別刷り「パソコン教室へのお誘い」をご覧ください。



◇タイ国・バンコクからの便り 貼り付け

2001年9月25日

「南国暮らしの会」 理事長 池田 徳三郎 様

拝啓 ご丁寧なお手紙を頂戴しながらお返事が遅くなり申し訳ありません。

実は、日本からいらっしゃる皆様の為に色々な情報など提供出来るような会を組織しようとの話が持ち上がり、何回か打ち合わせを致しました。具体化しましたら、そちらに情報をお送り致したいと思えます。

ところでホテルの件ですが、次のような条件です。

私にご連絡頂ければ、色々なご希望にもそえるかと存じますので宜しくお願い致します。

部屋面積と条件、おおよそ20㎡（テレビ、冷蔵庫付）但し3月から10月の料金で予約頂いた場合の特別料金です。（11月から2月までのシーズン中は10%アップします。）

宿泊料金
お一人様：660バーツ（@2.8/bx660=¥1,850-） *朝食100～150バーツ程度
お二人様：770バーツ（@2.8/bx770=¥2,160-）

1ヶ月単位でご宿泊の場合は、別途ご相談にのらせて下さい。

『当ホテルは創業35年の老舗のホテルで、安い、安心、快適をモットーに営業しております。』

宜しくご利用のほどお願い致します。』

今回は取り急ぎホテルの件をご案内させて頂きました。

PRINCE HOTEL THAILAND

経営者：川満 富子
(バンコク日本人会 前事務局長)

1537/1 NEW PETCHBURI RD., MAKKASAN, RAJTHEVEE, BANGKOK 10310, THAILAND.

☎：(662)251-6171~6, 252-5736, 252-9560. FAX：(662)251-3318

役員業務分担表

平成13年10月8日

NPO法人 南国暮らしの会

理事長 池田徳三郎

◇理事 業務分担

凡例；◎印；主務。□印；業務を分割（テーマ、期間）し行う。*印；補助。

No.	部門担当	氏名	業務内容
I	理事長	池田 徳三郎	・会総括代表・総会招集・臨時総会招集・現況情報収集 ・役員会招集・役員会議長・資産の管理・官庁関係資料の提出、
II	副理事長	酒匂 景輝 宮崎 哲郎	・理事長の補佐・理事長の事故又は欠けた場合は理事長の職務代行、
1	総務第1担当 (事務局)	◎宮崎 哲郎 *菊地 功	・定款（会則）等の改廃・本会日常運営案の作成・予算案の作成・官庁関係資料の作成・総会、例会、懇親会、催し等の企画及び実施・同会費徴収（テーマ策定・会場設定・運営管理・記録・発表）・総会議事録作成
2	総務第2担当	◎菊地 功 *宮崎 哲郎	・役員会テーマ策定資料・役員会招集実務・会場設定・運営管理・記録・発表 ・役員会議事録作成
3	経理担当	◎川上 雅久	・入会金・年会費徴収・一般収支・金銭出納記録・決算の事務・総会、懇親会催し、情報交換会等の会費徴収協力、親睦会計処理、・会費納入票回送
4	広報担当	◎高澤 弘晃 *小沢 努	・「南の会」ホームページ作成・問合者向け「南の会」案内書編集作成、 ・新規会員拡張対策・他機関への投稿・新聞、雑誌等の関係情報収集、
5	会報担当	□足立洋太郎 □小川 護雄	・会報等の原稿収集・編集・整理・校正・印刷・製本・発送 ・会員名簿作成・会員への情報提供
6	支部推進担当	◎池田徳三郎 *宮崎 哲郎	・支部統括・支部活動支援・支部地域区分作業
7	調査担当	◎米田 隆雄 *藤本 靖人	・賛助会員資格審査・南の国関係の居住地情報収集・関係不動産物件調査 ・ダイレクトメール等々・ツアー等の企画及び実施・その他
8	厚生担当	◎藤本 靖人 *米田 隆雄	・対象国の医療、介護等の調査・リタイアビザ再調査（内容の洗い直し）
9	会員担当	□酒匂 景輝 □鈴木 剛	・会員入退会・会費等の納入チェック・問合者に資料等の作成発送・会員対応 ・名簿整理・情報収集・体験滞在取次・会員からの情報収集（会報等の原稿）

◇監事 業務分担

1	監事	青柳 信 富永来久夫	・理事の業務執行状況の監査、・この法人の財産の監査、 ・定款に違反する重大な事実が発見されたら総会を招集し報告。 または所轄庁に報告。
---	----	---------------	---

注1 理事、監事の業務は本分担表に記載なき事項でも、本会定款に記載ある事項はこれに優先する。

注2 各業務担当理事は各部門の新年度予算申請を1月末までに行う。

◇委員会

○印：リーダー、□印：都度リーダー

・順：会員No順

*インターネット委員会：○高澤弘晃、阿部 功、富永来久夫、吉岡秀一、川上雅久、

*会報編集委員会：□足立洋太郎、□小川護雄、高澤弘晃、小沢 努、

*会案内書編集委員会：○宮崎哲郎、酒匂景輝、菊地 功、竹中隆成、

*規定集編集委員会：○酒匂景輝、池田徳三郎、足立洋太郎、菊地 功、小川護雄、

*企画委員会：○池田徳三郎、酒匂景輝、高澤弘晃、宮崎哲郎、

*支部委員会：○宮崎哲郎、池田徳三郎、川上雅久、鈴木 剛

※平成13年度より企画委員会を新設する。その理由

- ・南の会の健全な発展を模索する委員会で、将来展望構想等の企画立案を行う。
- ・他に補助金関係や収益事業関係の情報収集を行い、本会の体質、会員構成でその様な事業が可能かなど検討する。
- ・本委員会で纏まった事項は理事会に諮り、実施可能な事業は各業務部門に配分し実施する。

◇「南の会」理事、監事の会員No.と氏名 ◇印：留任、◎印：新任予定者

- ◇理事長；会員No.3：池田徳三郎、 ◇副理事長；会員No.24：酒匂景輝、 ◇副理事長；会員No.163：宮崎哲郎、
 ◎理事；会員No.59：米田隆雄、 ◇理事；会員No.101：高澤弘晃、 ◎理事；会員No.110：藤本靖人、
 ◎理事；会員No.140：小沢 努、 ◎理事；会員No.148：足立洋太郎、 ◎理事；会員No.198：川上雅久、
 ◎理事；会員No.259：菊地 功、 ◎理事；会員No.280：小川護雄、 ◎理事；会員No.315：鈴木 剛、
 ◇監事；会員No.1：青柳 信、 ◇監事；会員No.115：富永来久夫、

(住所、電話番号等は会員名簿参照)

◇支部及び支部長 (支部長業務分担)

No.	支部名	会員No. 支部長名	会員No. 支部長代理名	業 務 内 容
1	九州地区	30.竹村 毅俊		・支部会員纏め、
2	中国地区	85.布施 健治		・支部会招集、
3	関西地区	12.大橋 績		・新規会員の発掘、
4	関東地区	163.宮崎 哲郎	148.足立洋太郎	・支部親睦会会計処理、
5	甲信越地区	96.宮沢 英光		・その他、
6	マニラ地区	61.塩見 祥昭		・会員の旅相談、宿泊所・案内人等の斡旋紹介、
7	セブ地区	27.鈴木 博		・支部親睦会会計処理、
8	ベナン地区	18.木村 義光		・現地情報収集・報告、
9	クアラ・ロンゴール	302.末 英樹		・その他、

◇雇 員 問 ◇印：旧幹事、理事、顧問 ☆印：新任顧問

・順：会員No順

- ◇会員No.32.寺前伊蔵：長老、東南アジアに詳しい、ホームセンター自営(現在引越し隠居) [元幹事]
 ◇会員No.35.西田忠正：ジャーナリスト、元サンケイ記者、外国一般。 [元幹事]
 ◇会員No.40.平澤 信：女性で外国一般に詳しい。 [元幹事]
 ◇会員No.47.三井田雅俊：経理他諸事項に長けている。 [前副理事長]
 ◇会員No.58.山之内良隆：夫婦で東南アジアに滞在体験豊富。 [元幹事]
 ◇会員No.74.原 延光：不動産関係に詳しい。 [前理事]
 ◇会員No.76.三好 聡：経理事務所自営。(南の会：経理業務関係)
 ☆会員No.80.阿部 功：コンピューター関係に長けている。
 ◇会員No.126.林 元則：アパレル産業従事。(労務関係に長けている) [元幹事]
 ◇会員No.149.梶野幸三：ボランティア団体主宰。(マニラ地区のストリートチルドレン関係)
 ◇会員No.183.吉岡秀一：コンピューター関係に長けている。(南の会会報のホームページ担当)
 ◇会員No.230.渡辺和美：コンピューター関係に長けている。
 ◇会員No.293.比企省蔵：港区にある企業(電気工事関係)の顧問。

◇役員募集 (ボランティアでするので自発的に立候補して下さい。)

支部を国内では北海道、東北、北陸、東海、四国等、また外国(南の国)の各都市に開設予定です。
 支部長立候補者を特に募集中。

以上

☆ 編集委員より

♪この会報は会員みんなの会報です。

いい情報もみんなで共有しましょう。

皆さんの南国経験や情報を是非原稿としてお寄せください。

お待ちしております。

窓口 足立 洋太郎 TEL: 045-846-3053

Eメール: adaci@kk.iiij4u.or.jp

小川 護雄 TEL: 044-986-9052

Eメール: mo.ogawa@mx10.ttcn.ne.jp

♪メーリングリストでは不動産の広告について活発な議論を有難うございました。

事務局としては「不動産の広告」も一つの情報提供として、とらえております。

会報に書かれた情報に対するのと同様に、ただ信じるのではなく、最終的にはご自分で確認し、ご自分で判断し、ご自分で責任をとることが求められます。

日本人は人に頼ったり、甘えたりすることが多いと言われます。私たち一人一人、外国でも通用するような大人になれるよう、努めたいですね。

納得の上*自己責任*自己決定



発行者 特定非営利 活動法人「南国暮らしの会」 理事長 池田 徳三郎

〒170-0002 東京都豊島区巢鴨 1-15-2-809 TEL/FAX 03-3947-8977



写真：フォンタナリゾート内イスタンブール通り

フィリピン、クラークでアメリカンスタイルのセカンドライフを実現しませんか！

- ◇ アメリカ空軍基地として整備されたクラーク特別経済区は、今では国有地として確かなインフラと広々とした豊かな環境、それに安全面でも申し分のない完成された生活の場となっています。
- ◇ 免税特区のクラークはあらゆる商品が安く揃う買い物天国です。
- ◇ クラーク内の広大な敷地を有する“フォンタナリゾート”は空軍将校用住宅416棟をビラとして完成させて、ゴルフ場やウォーターパーク、テニスコート等諸施設も整え生活をエンジョイさせてくれます。
- ◇ 公害のない緑に囲まれたリゾート内ビラでは、既に6所帯の日本人ロングステイヤーと現地進出企業駐在員6所帯が生活を始めています。
- ◇ “フォンタナリゾートビラ(2LDK, 116㎡)”の15年間のロングリースの契約金は P2,500,000.- (約¥6,000,000) という安さです。
ビラは契約者の名義となります。また、フィリピン政府機関より期間内所有者である保証を受けます。
もちろん、転売(リース権)も可能です。
- ◇ フォンタナリゾートでは、体験滞在のほか、空港からの車の手配、クラークのご案内も承っています。
1ビラ当り・・・1泊 ¥7,000.-、1週間 ¥40,000.-
フルファニチャー付きのフォンタナビラは、2組のご夫婦4人でも十分くつろげる広さです。

◆フォンタナリゾートの詳しい資料をお求めの方は、下記までお気軽にお問い合わせ下さい。◆

フォンタナリゾートアンドカントリークラブ

日本総代理 **田野瀬 博太郎**

〒559-0015 大阪市住之江区南加賀屋 2-5-13

TEL: 06-6683-4912 FAX: 06-6682-3433

フィリピン住所

VILLA NO.3916, FONTANA LEISURE PARKS,
CLARK SPECIAL ECONOMIC ZONE, CLARKFIELD
PAMPANGA, PHILIPPINES

TEL&FAX: 63-45-599-5899

アルカピア倶楽部は「夢」を実現します!

「アルカピア」とは、アルカディア「理想郷」とユートピア「地上の楽園」が融合した。新セカンドライフの提言するキーワードです。

アルカピア倶楽部は
第二の人生を迎える
方向をサポートします。



年金だけで
ゆとりのある
豊かな生活を
エンジョイする
そんな倶楽部です。

「アルカピア・クラブ・ヴィレッチ」で、南国暮らしをエンジョイしては如何ですか。

「アルカピア・クラブ・ヴィレッチ」の活動

- 1・海外ロングステイ(メイド、運転手つきで家事から開放の生活)
- 2・充実したメディカルサービス(緊急、夜間の往診を含め定期検診まで)
- 3・留守宅のホームセキュリティー

(留守宅を管理会社と常勤スタッフでお守ります)

- 4・海外語学研修プログラム(リタイヤしてから身につく英語)
- 5・観光(ゴルフ、スキューバー等)の企画手配
(思い切りやりたかったスポーツや観光が実現)

- 6・分譲建物購入及び賃貸物件の相談、情報収集
(年金で貯金も出来てマイホーム購入)

* 当クラブの分譲地は、マニラ空港から1時間の複合都市型リゾート地内
(カビテ州ゼネラルトリアス)に位置しております。

販売価格帯は980万円~1,100万円台です。

- 7・ボランティア活動(趣味を生かしてのびのび生きる)
- 8・アルカピア倶楽部はこんなお手伝いを致します。

* 特別退職者居住ビザ(SRRV)取得の代行、お1人の場合5万円・御夫妻の場合6万円の代行手数料(南国暮らしの会の中から、当社を通して取得された方がおられます。)

「海外年金暮らしのセミナーを、11月3日に開催しますので、是非ご参加下さい。」

株式会社アルカピアジャパン(TEL:03-3221-6480)

詳細は当社の巴(ともえ)、川副(かわぞえ)迄、お気軽にご連絡下さい。

